



PORTO^{new}
PORTO piano

取付・設置説明書

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 2
取付・設置前の確認	2
ユニット構成図	3
取付機位置	4
取付・設置作業手順	4
アジャスターの取付け	5 ~ 7
転倒防止機能付きアジャスターの取付け	8
フロアユニットの取付け	9
フロントパネルの取付け	10
ワークトップの取付け	11 ~ 12
パイプラックパーツの取付け	13
ウォールユニットの取付け	14
照明器具・照明カバー〔ステンレス製〕の取付け	15 ~ 16
ガラスバックガードの取付け	17
配管前の準備	18
排水管の配管	18
配管カバーの取付け	19
水栓、キッチンパーツの取付け	19
分岐ヘッダ止水栓の取付け	20
リカバリータンクの取付け	21
ステンレス配管カバーの取付け	22
排水隠しカバーの取付け	23
配管ボックスの取付け	24
プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバーの取付け	25 ~ 26
クロスギャラリーの取付け	27
引出しの取り外し、取付け	27 ~ 28
丁番の着脱	28
引出し前板の調整	29 ~ 31
扉（丁番）の調整	31
取付・設置後の点検・清掃・養生	31
ホルムアルデヒド発散区分／VOC 放散性能	32

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を見逃して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

■取付・設置完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

■本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

警告

ステンレス製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

ウォールユニットおよびキッチンパーツの取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

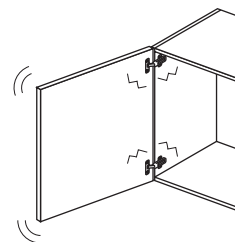
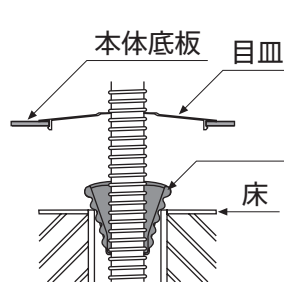
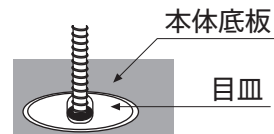
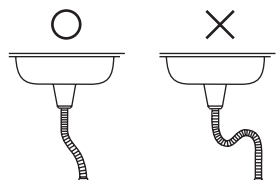
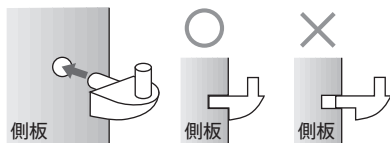


落下して、ケガをする恐れがあります。

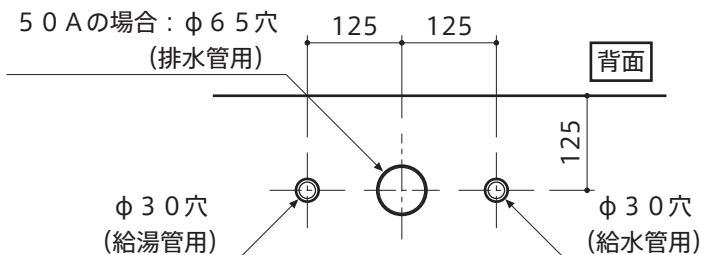
電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。



背面

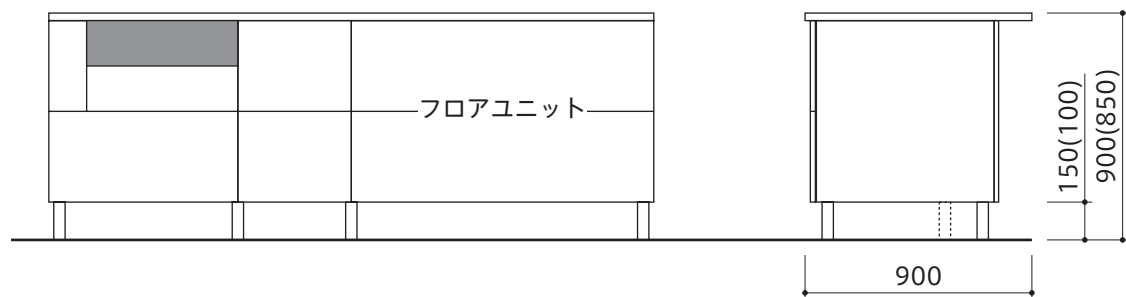


ユニット構成図

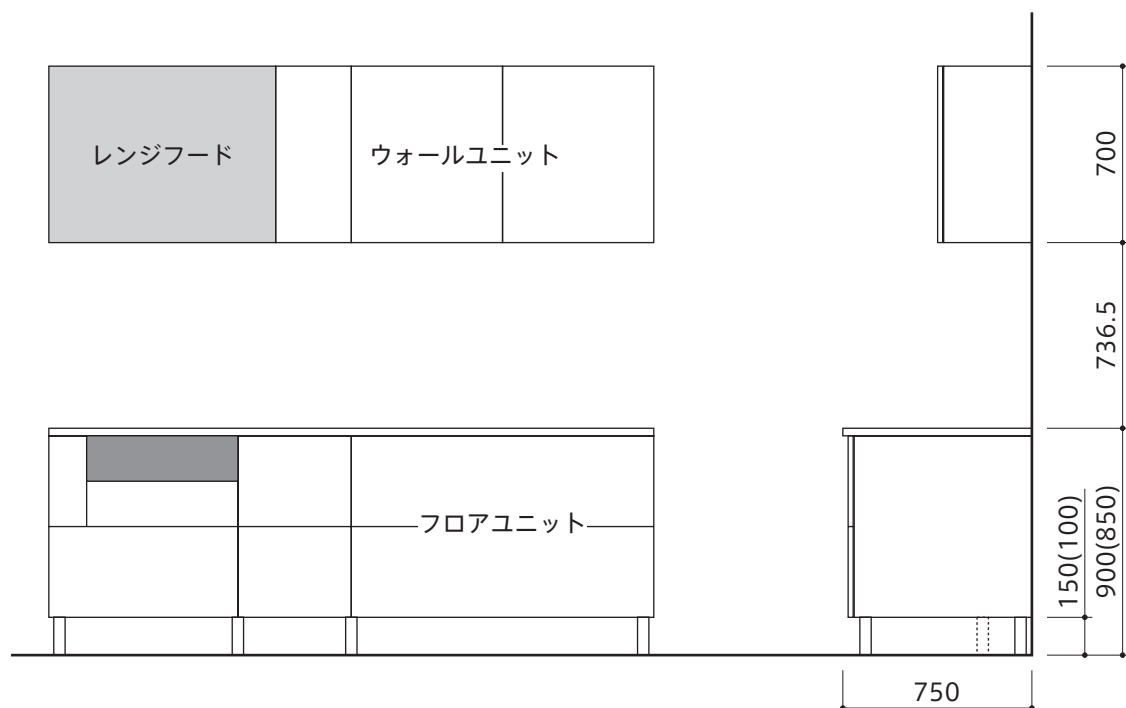
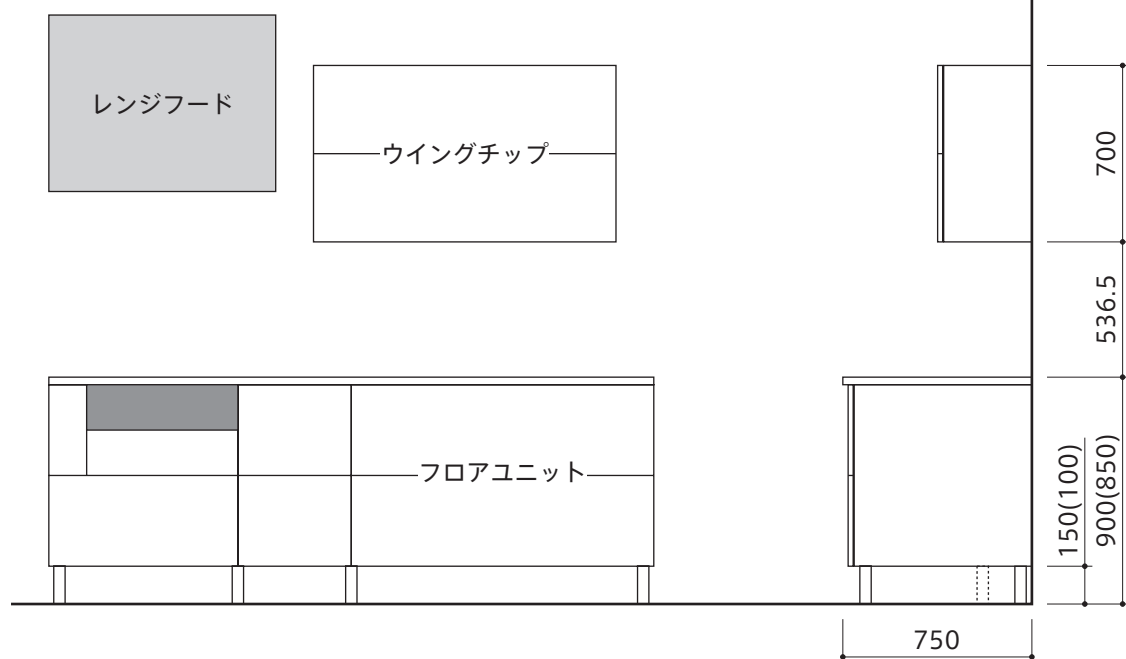
※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※下記の構成図は一例ですので、プランによって異なります。

【アイランドタイプ】

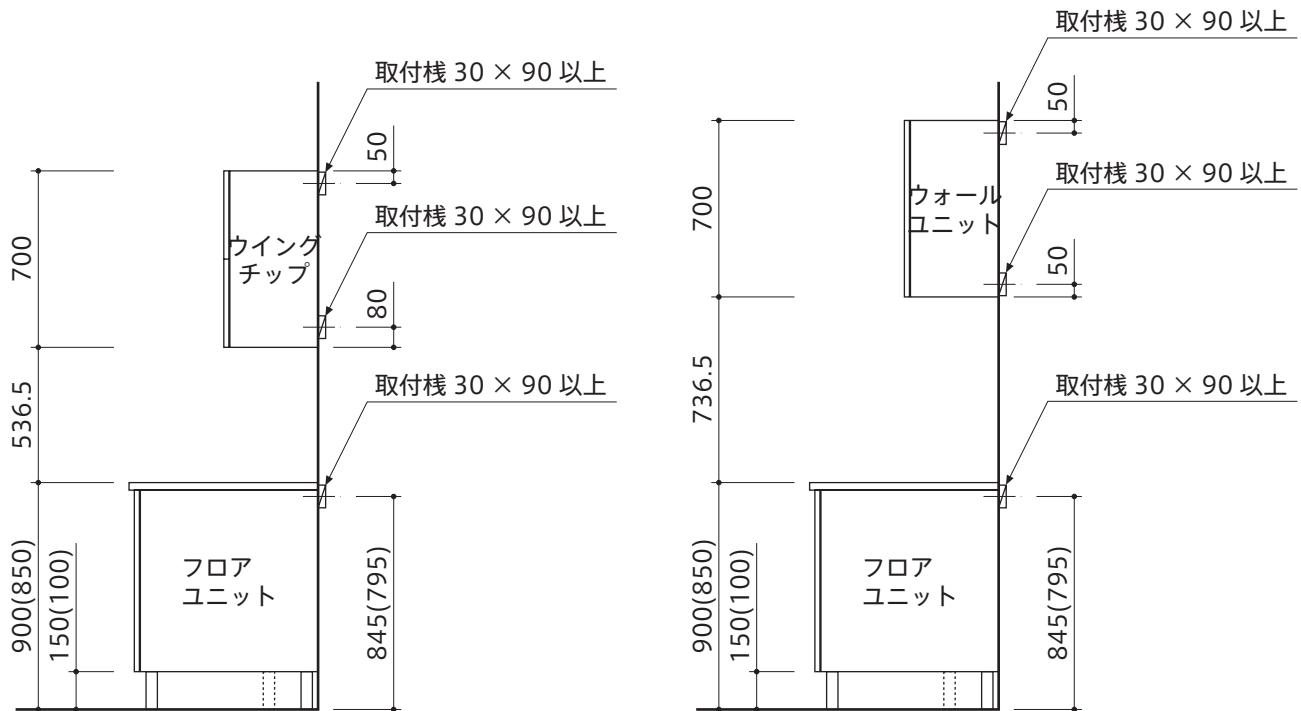


【オンウォールタイプ】



取付枠位置

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。



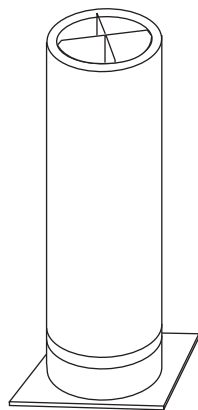
取付・設置作業手順

1. 取付・設置面のレベル出しを行う。
壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、H=870 (A F仕様【H=100】の場合H=820) の墨出しをする。
(これが全ての取付基準になる。)
尚、壁背面側面はあらかじめ12mm以上のコンパネ貼りを指示しておくのが望ましい。
2. フロアユニットを取付ける。
アジャスターをユニットに取付け、ユニットひとつひとつの前面に対し、水平をみながら壁側より取付けセットしていく。(1ユニットごとに連結していく。)
オンウォールタイプの場合、設置後、壁面に固定する。
3. ワークトップを取付け、加熱機器をセット固定する。
仕上がり後、ダンボール等でワークトップを養生し、上部の取付けを始める。
4. 調理機器バックパネルを取付ける。
5. ウォールユニットを取付ける。
1でレベル出しをした壁側より、順次水平垂直のレベルを見ながら取付けていく。
その時レンジフードについても、換気扇等の現場合合わせを行い、取付ける。
その他ウォールユニットの部品を取付ける。
6. 給水栓取付け後、オプションパーツを取付ける。
7. 扉、引出し前板の調整を行う。

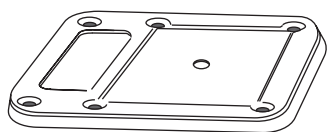
アジャスターの取付け

■部品名称

アジャスター脚



アジャスタープレート



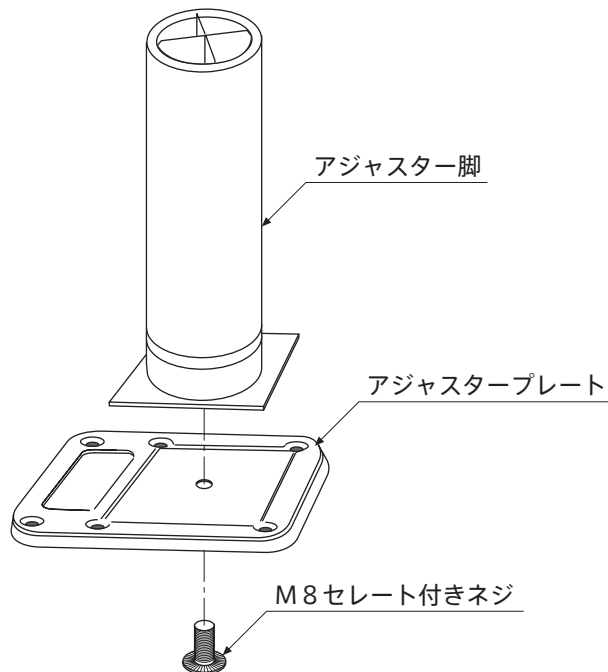
M8セレート付きネジ



⊕サラタッピンネジ 4.0 × 16



■アジャスターの組立て



・ M8セレート付きネジを使用し、アジャスタープレートにアジャスター脚を固定します。

■アジャスターの取付け

・フロアユニットを裏向けて、底板裏面にアジャスターを取付けます。

フロアユニットが連続する場合は左側から取付けます。

※どちらか壁になる場合は壁側から取付けてください。

※アジャスターの取付位置は、「アジャスター配置」を参照してください。

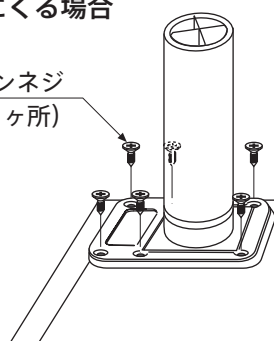
・底板裏面に開いている下穴にアジャスタープレートの穴を合わせ、⊕サラタッピンネジ4.0 × 16にて固定します。

※ユニットが端にくる場合は**6本**固定します。

隣にユニットが続く場合は**4本**固定し、残りの**2本**はユニット連結後に固定します。（次頁「アジャスターの固定」参照）

ユニットが端にくる場合

⊕サラタッピンネジ
4.0 × 16 (6ヶ所)

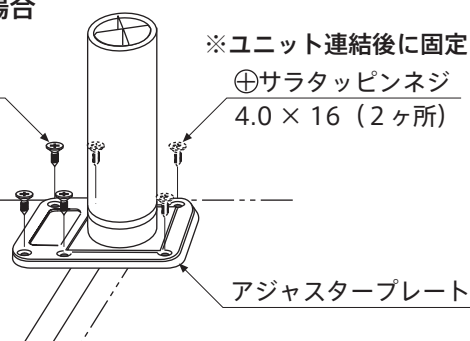


隣にユニットが続く場合

⊕サラタッピンネジ
4.0 × 16 (4ヶ所)

※ユニット連結後に固定
⊕サラタッピンネジ
4.0 × 16 (2ヶ所)

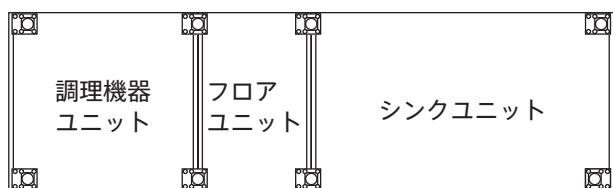
底板裏面



■アジャスター配置（裏面より）

【オンウォールタイプ】

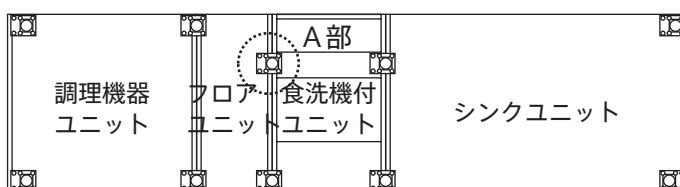
W=2400、2550、2700 食洗機無



W=2400、2550 食洗機付



W=2700 食洗機付

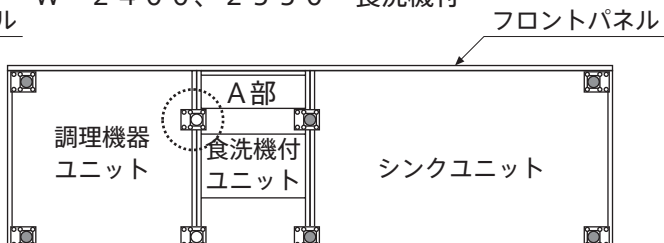


【アイランドタイプ】

W=2400、2550 食洗機無



W=2400、2550 食洗機付



※アイランドタイプの場合

■は転倒防止機能付きアジャスター

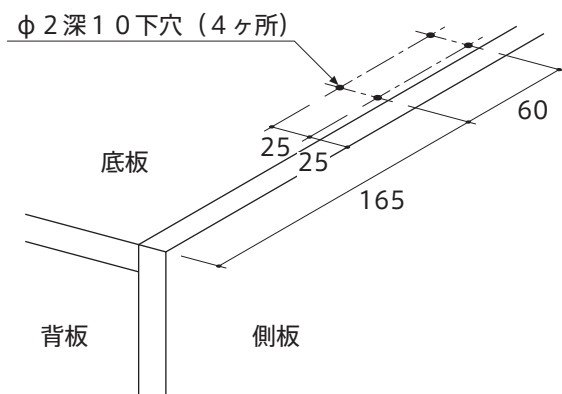
（「転倒防止機能付きアジャスターの取付け」を参照してください。）

□はアジャスターのみ

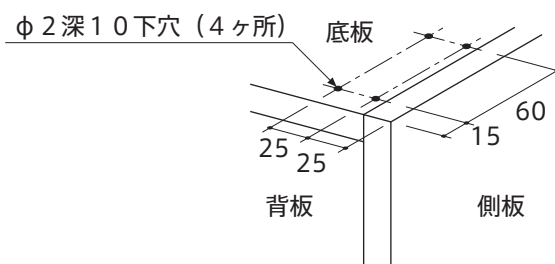
・ ○ A部は下穴が開いていませので、ユニットの底板に下穴を開けてからアジャスターを取付けてください。

・ 背面側に下穴が開いていない場合は、ユニットの底板に下穴を開けてからアジャスターを取付けてください。

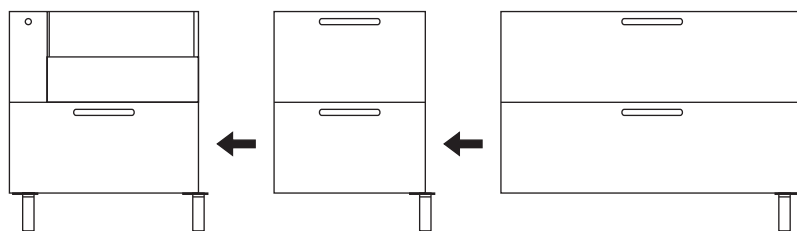
穴開け加工詳細図（裏面より）



穴開け加工詳細図（裏面より）

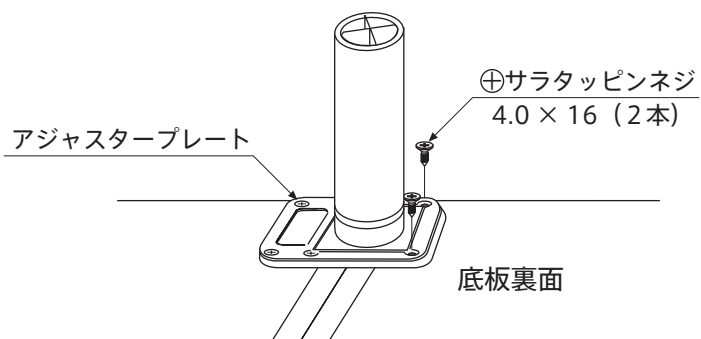


■ユニットの連結

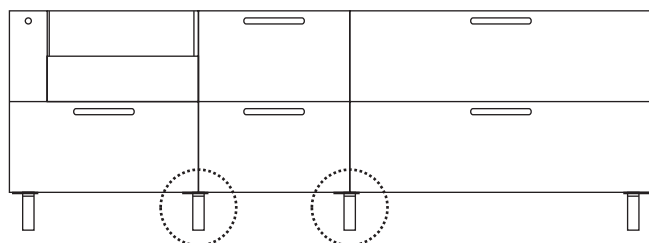


- ・左側（壁側）のユニットを取付け後、隣のユニットを順に取付けていきます。
1ユニットごとにユニット連結をします。
- ・アジャスターは、キッチン両端以外は、ユニットとユニットの間の位置になります。

■アジャスターの固定

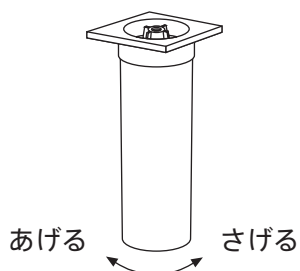


- ・ユニット下側から、連結箇所のアジャスタープレートを固定します。アジャスタープレートの残りの穴（2ヶ所）から⊕サラタッピンネジ4.0×16にて固定します。



注意：ユニット連結後、ユニット下側からアジャスタープレートの残りの穴（2ヶ所）を必ずネジ固定してください。

■アジャスターの調整方法



- ・手を使い、ユニットの高さや水平を調整します。
- ※アジャスターの調整は1ユニットごとに行ってください。
- ※調整範囲 -0～+10mm

転倒防止機能付きアジャスターの取付け

※ アイランドタイプの場合のみ。

1. コンクリート床、石床の場合、指定位置（「転倒防止機能付きアジャスター取付位置」を参照）にカール P C プラグを取付けます。（図 1）

床にφ 6 深 3 5 の下穴を開け、カール P C プラグ 6 × 2 5（市販品）を取付けます。

2. ⊕サラ木ネジ 3. 8 × 3 8 にワッシャーを通し、転倒防止部品を床に取付けます。（図 2）
3. 転倒防止部品にアジャスター脚を差し込みます。（図 3）
4. アジャスター脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。

■調整範囲 - 0 ~ + 1 0 mm

5. アジャスター脚の固定穴（2 ヶ所）から⊕サラタッピンネジ 3. 5 × 1 6 にて固定します。（図 4）

※ ネジ頭がアジャスター脚からはみ出さないように固定してください。

図 1

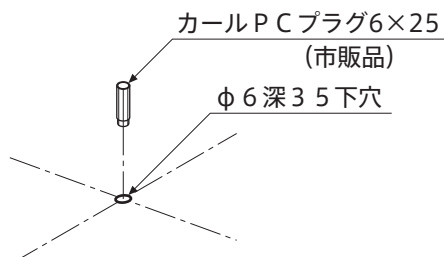


図 2

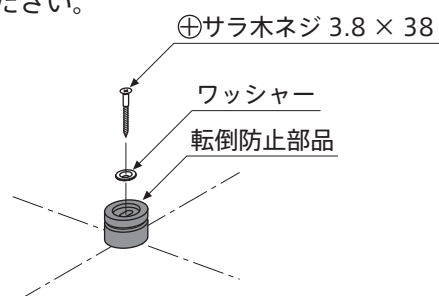


図 3

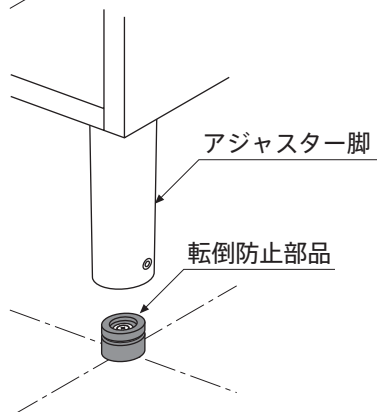
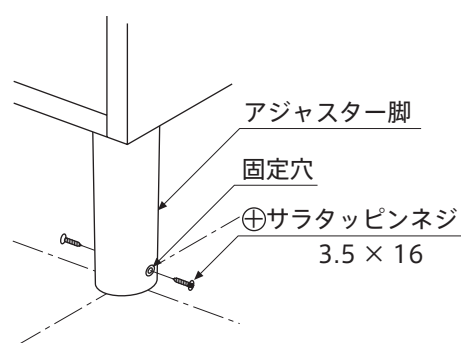
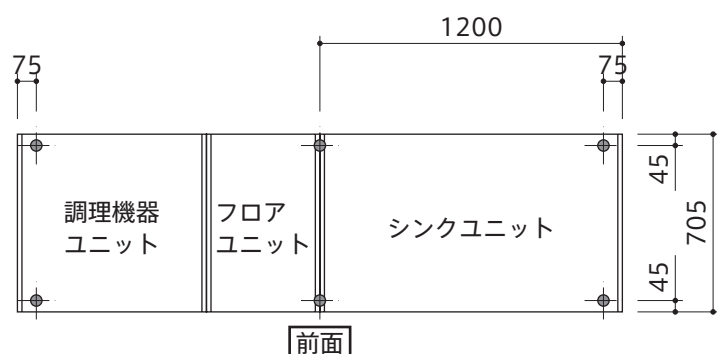


図 4



■転倒防止機能付きアジャスター取付位置（平面図）

【アイランドタイプ W= 2 4 0 0、2 5 5 0 食洗機無】



【アイランドタイプ W= 2 4 0 0、2 5 5 0 食洗機付】



注意：アジャスター脚は必ず床に固定してください。

フロントパネルの取付け

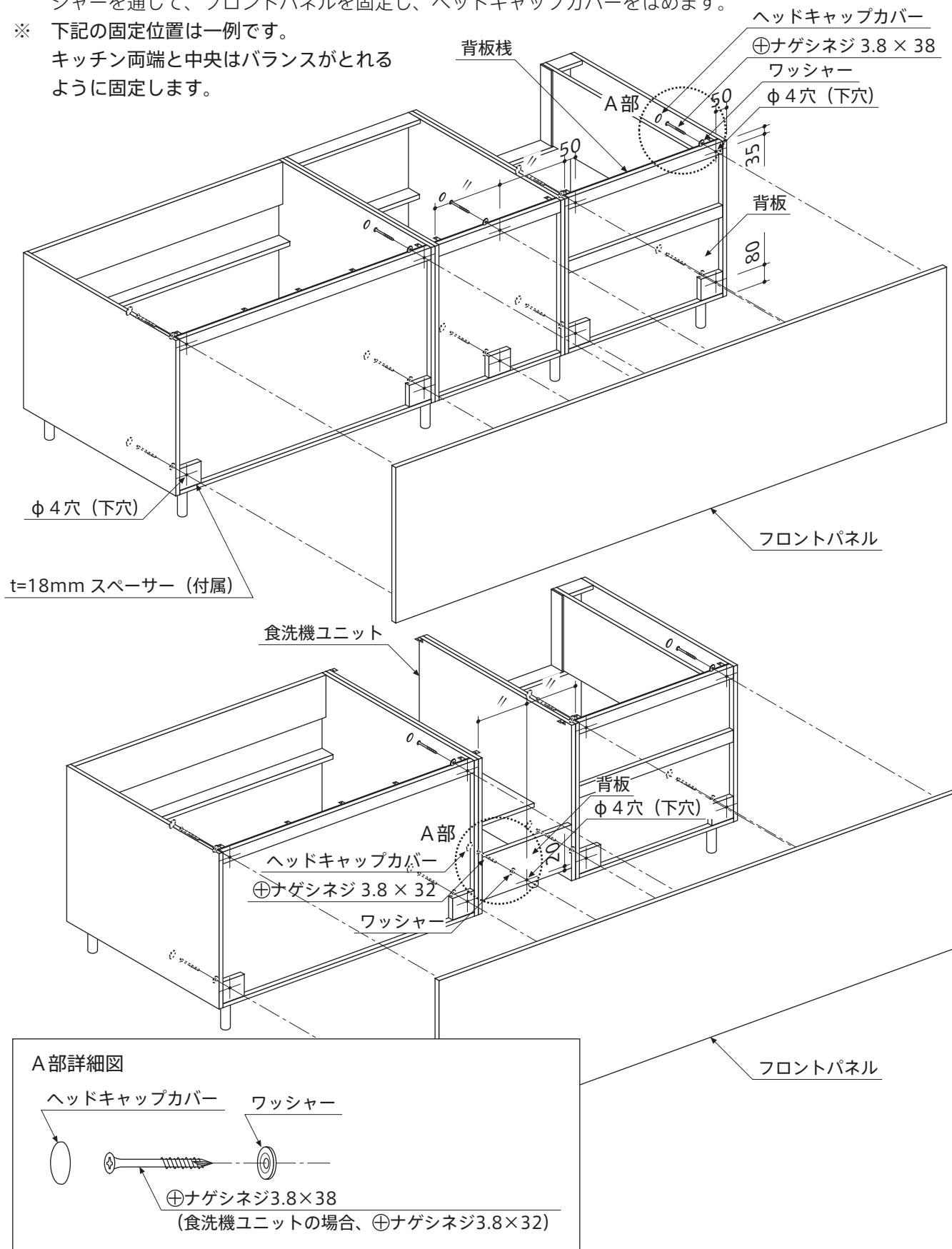
1. ユニットの背板背面下部に $t = 18\text{ mm}$ スペース（付属）を両面テープで仮止めします。
2. ユニットの背板と仮止めした $t = 18\text{ mm}$ スペースの指定位置にユニット内の背板から $\phi 4$ の下穴を開けます。

食洗機ユニットの場合、背板の指定位置に $\phi 4$ の下穴を開けます。

3. ユニット内から $\oplus$ ナゲシネジ 3.8×38 （食洗機ユニットの場合、 $\oplus$ ナゲシネジ 3.8×32 ）にワッシャーを通して、フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。

※ 下記の固定位置は一例です。

キッチン両端と中央はバランスがとれるように固定します。



ワークトップの取付け（オンウォールタイプの場合）

- ・シンクユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、壁へ押し付けながらワークトップ裏面の指定位置に⊕バインドタッピンネジ 3.5×16にてL金具を取付けます。（図1、2）
- ※壁面に弊社のバックパネルや壁面パネルを取付けない場合は、ワークトップの壁に接する面にシール材（ワークトップ付属品）を貼り、その上にシーリング材を線状に付着させてから、ワークトップを壁へ押し取付けてください。（図3）
- ・ワークトップをユニットに押し付けながら、ユニット前面の指定位置に⊕サラタッピンネジ 3.0×16にてL金具を固定します。（図1、2）
- ※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。
- ・引出しユニットおよび加熱機器ユニット前面は、上棧に開いているφ4穴から⊕ナゲシネジ 3.8×32にワッシャーを通して、ワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。（図1、2）
- ・食洗機ユニットおよびユニット後面は、取付けてあるL金具から⊕バインドタッピンネジ 4.0×16にてワークトップと固定します。（図1、2）
- ※全ての施工が終わりましたら、壁とのすき間全周（縦目地も含む）をシーリングしてください。（図4）

図1

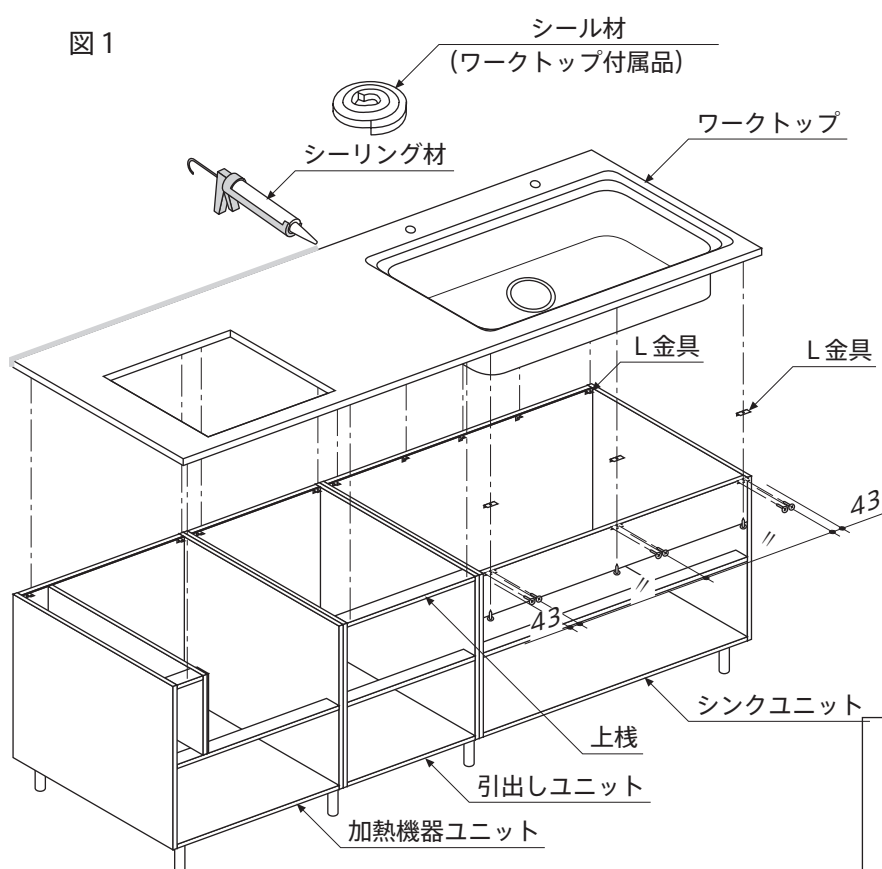
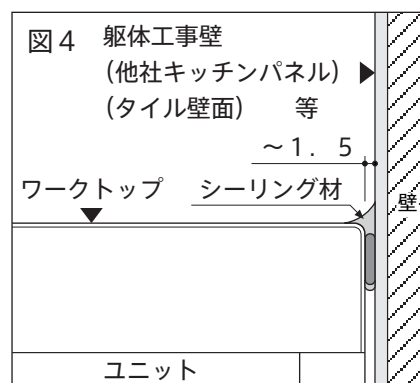
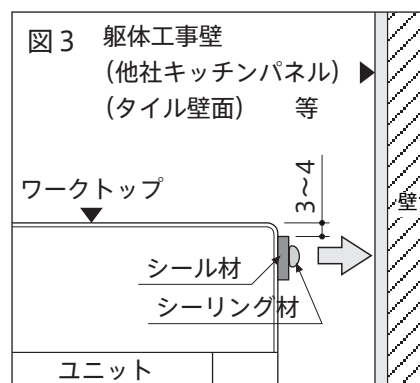
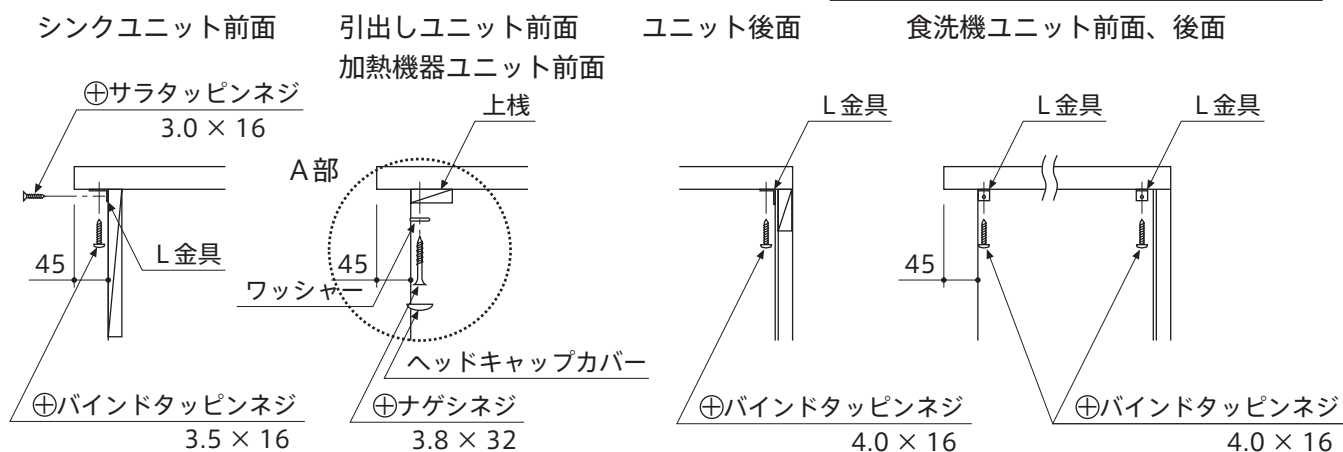
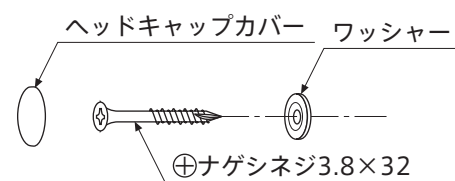


図2



A部詳細図



ワークトップの取付け (アイランドタイプの場合)

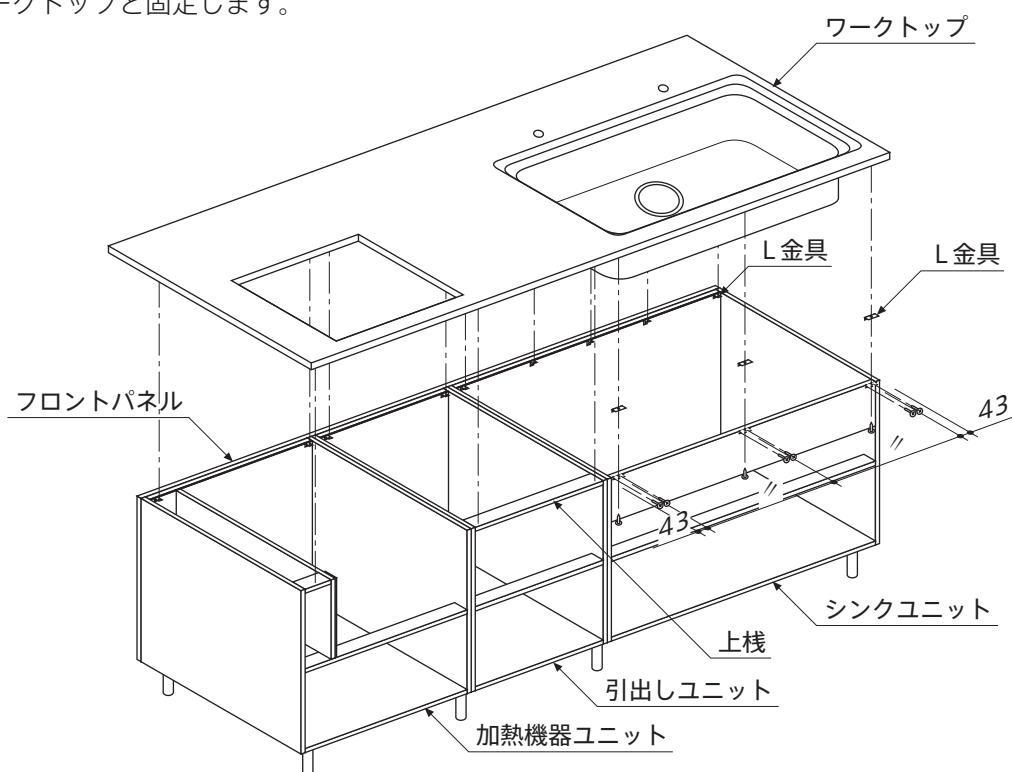
・シンクユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、ワークトップ前面からユニット前面まで45mmになるように位置を合わせながら、ワークトップ裏面の指定位置に⊕バインドタッピンネジ3.5×16にてL金具を取付けます。

ワークトップをユニットに押し付けながら、ユニット前面の指定位置に⊕サラタッピンネジ3.0×16にてL金具を固定します。

※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。

・引出しユニットおよび加熱機器ユニット前面は、上棧に開いているφ4穴から⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

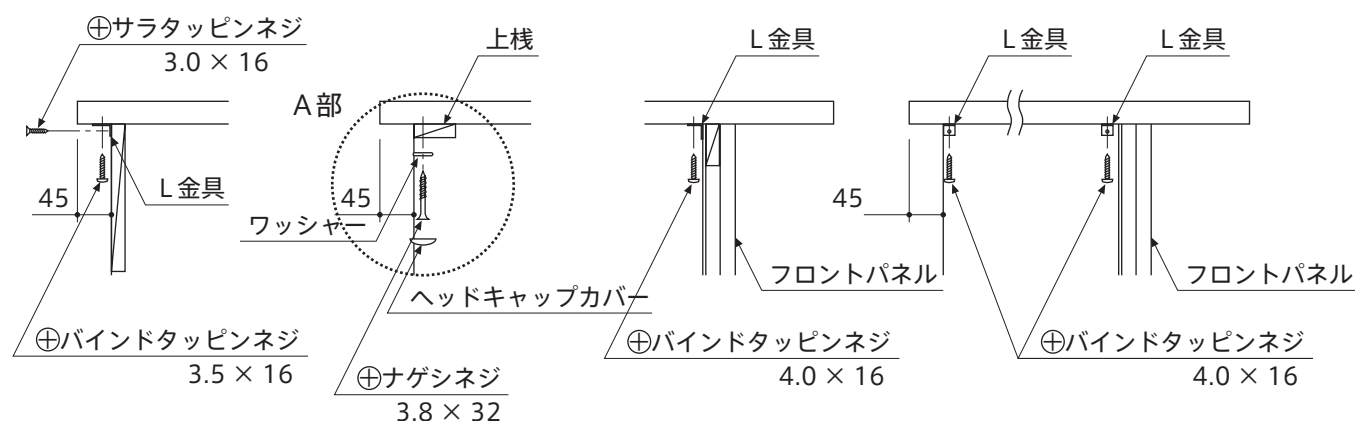
・食洗機ユニットおよびユニット後面は、取付けてあるL金具から⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてワークトップと固定します。



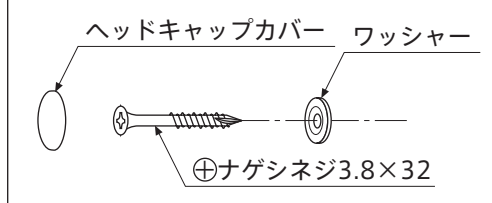
シンクユニット前面

引出しユニット前面
加熱機器ユニット前面

食洗機ユニット前面、後面



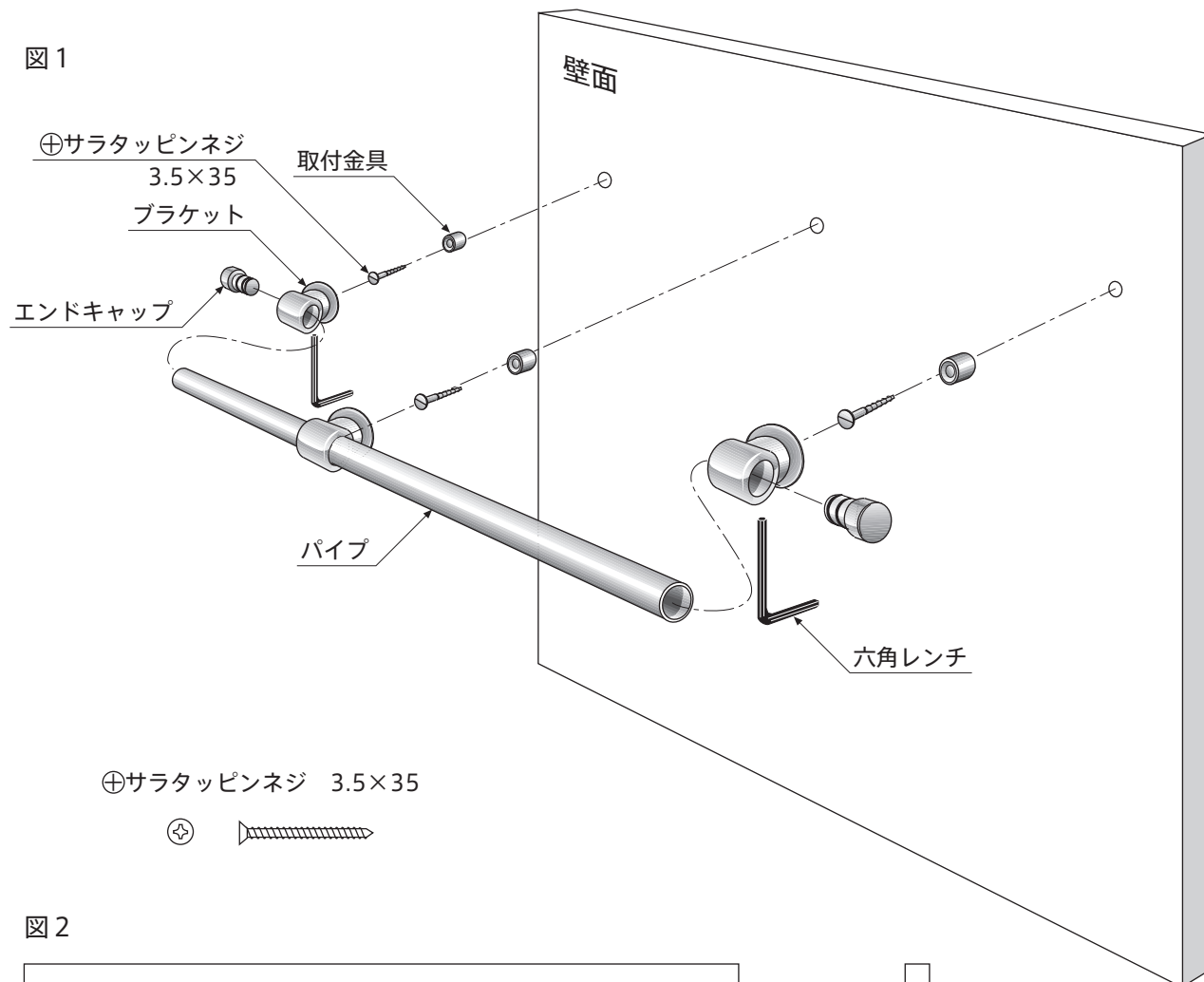
A部詳細図



パイラックパーツの取付け

- ・図2の位置に取付金具を⊕サラタッピンネジ 3.5×35にて取付けます。
- ・ブラケットにパイプを通して取付金具に差し込みます。
- ・ブラケットの下方ネジを六角レンチで締めて、パイプを固定します。
- ・パイプの両端にエンドキャップを取付けます。

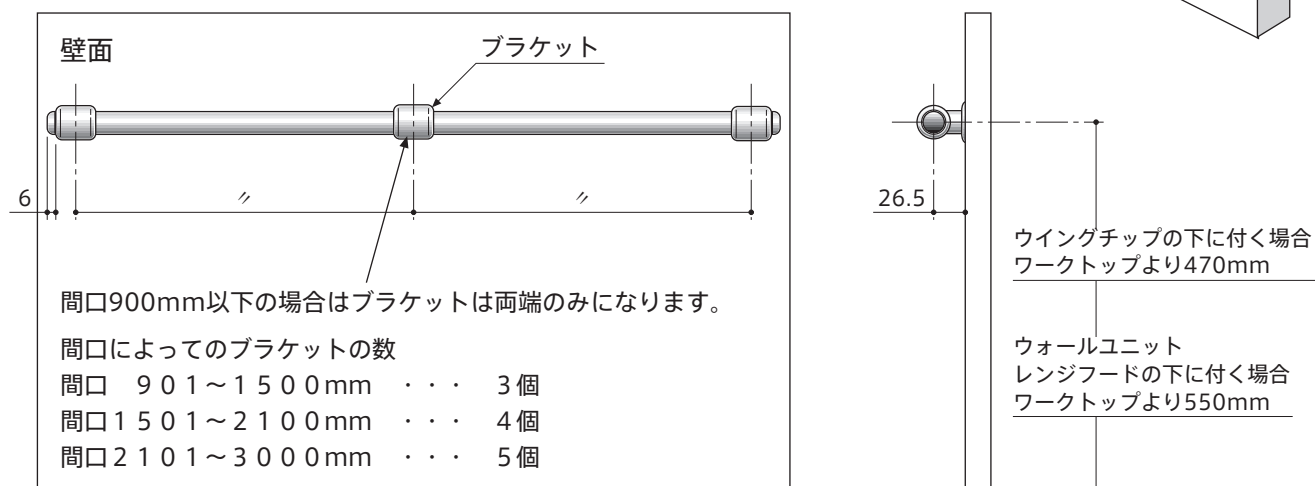
図1



⊕サラタッピンネジ 3.5×35



図2



注意！

中間ブラケットの位置は基本的に均等割ですが、間口によっては均等割にすると使用できないラックが出てきますので、選んだラックの種類により中間ブラケットの位置を考慮してください。
またブラケット間最大寸法は900mmまでです。

ウォールユニットの取付け

※ウイングチップの取付けについては、付属の「取扱説明書、取付・設置説明書」を参照してください。

※壁面の取付位置に強度上十分な桟が入っていることを確認してください。

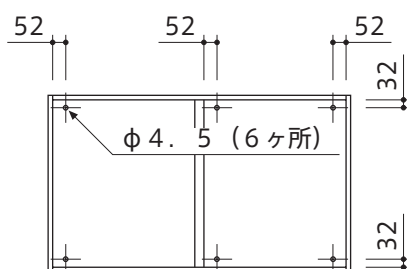
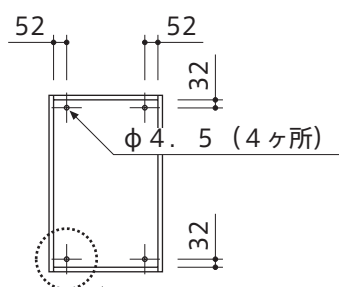
※取付位置は全てネジ固定して、取付け忘れの無いようにしてください。

- ・ユニットを壁面に固定します。
ユニット背板に貼り付けてあるシールの中央に取付穴（φ4.5）を開けます。
⊕ナゲシネジ4.2×60にワッシャーを通して壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

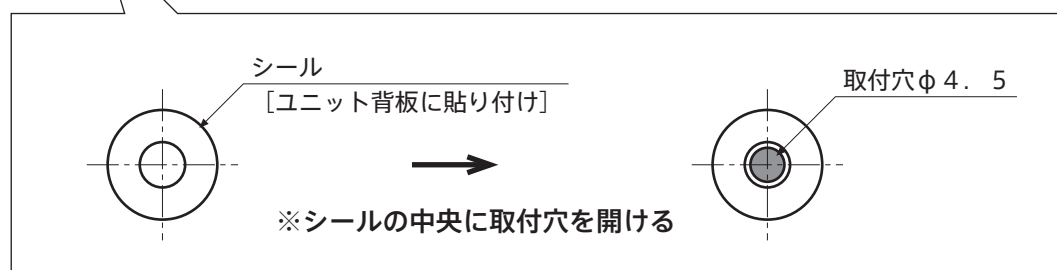
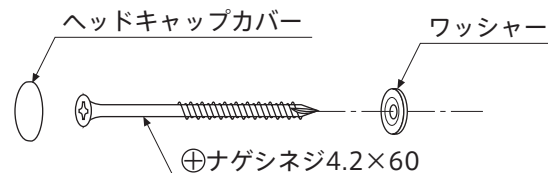
正面図

W=300~600

W=1200

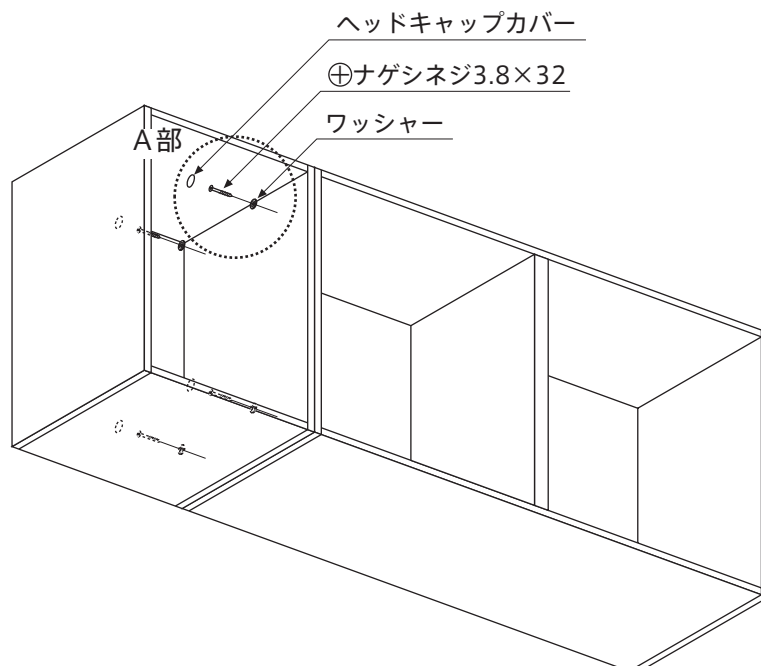
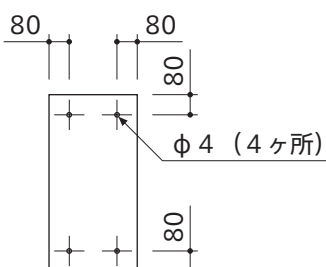


壁面固定詳細図

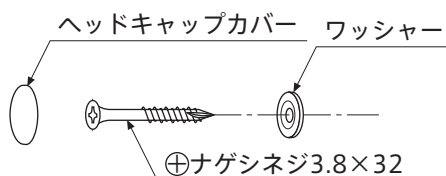


- ・ユニットを連結します。
ユニット側板の指定位置に取付穴（φ4）を開けます。
⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通してユニット同士を連結し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

側面図



A部詳細図



1. 照明カバーを付属の⊕トラスタッピンネジ 3.5×12にて図1の位置に取付けてください。
照明カバーはユニット前面（扉を含まない）および側面より0～2mm入った位置で取付けます。
なお、両面テープ（出きるだけ薄いもの）を併用すると、位置合わせが簡単で正確に行えます。
- ※ ウイングチップの場合、前面より30mm、側面より0～1mm入った位置で取付けます。（図2）
2. サイドキャップは壁面パネルがある場合と無い場合で長さが異なります。（図3・図4）
- ※ ウイングチップの場合、サイドキャップはありません。（図5）

図1

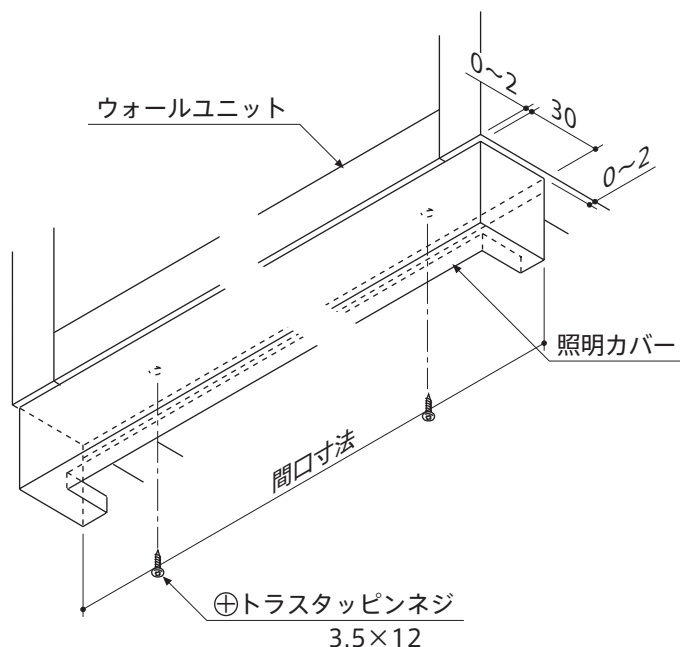


図2

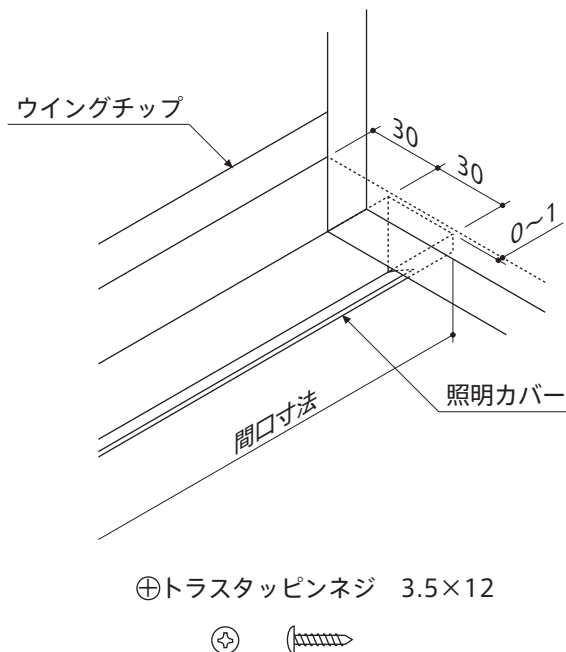
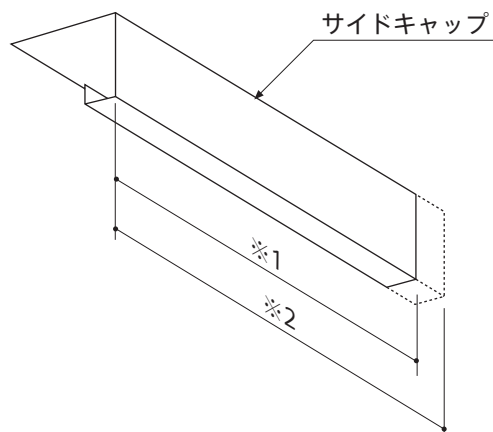


図3



- ※1 L=306mm
ウォールユニットD=350mm用
壁面パネル仕様
- ※2 L=318mm
ウォールユニットD=350mm用
壁付け仕様

図4 ウォールユニット

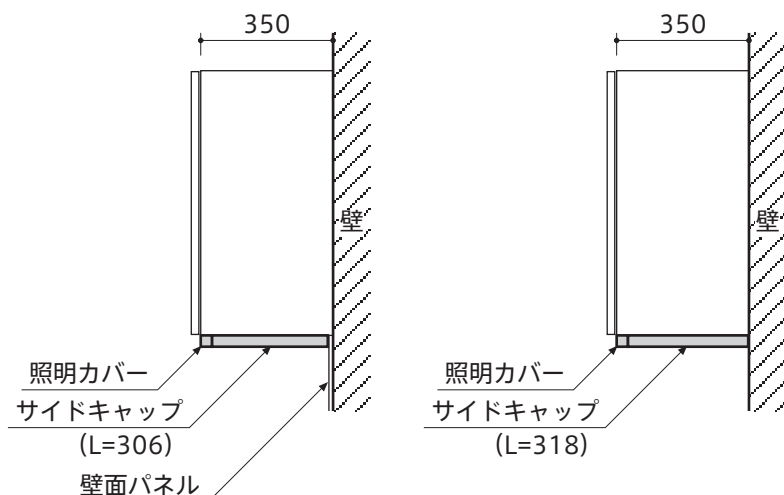


図5 ウイングチップ

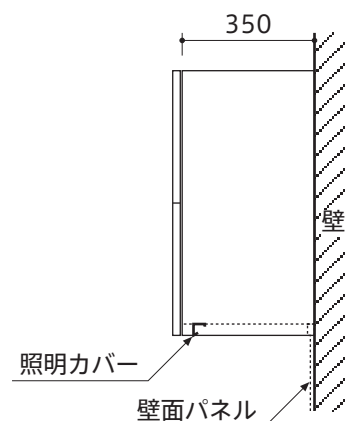


図6

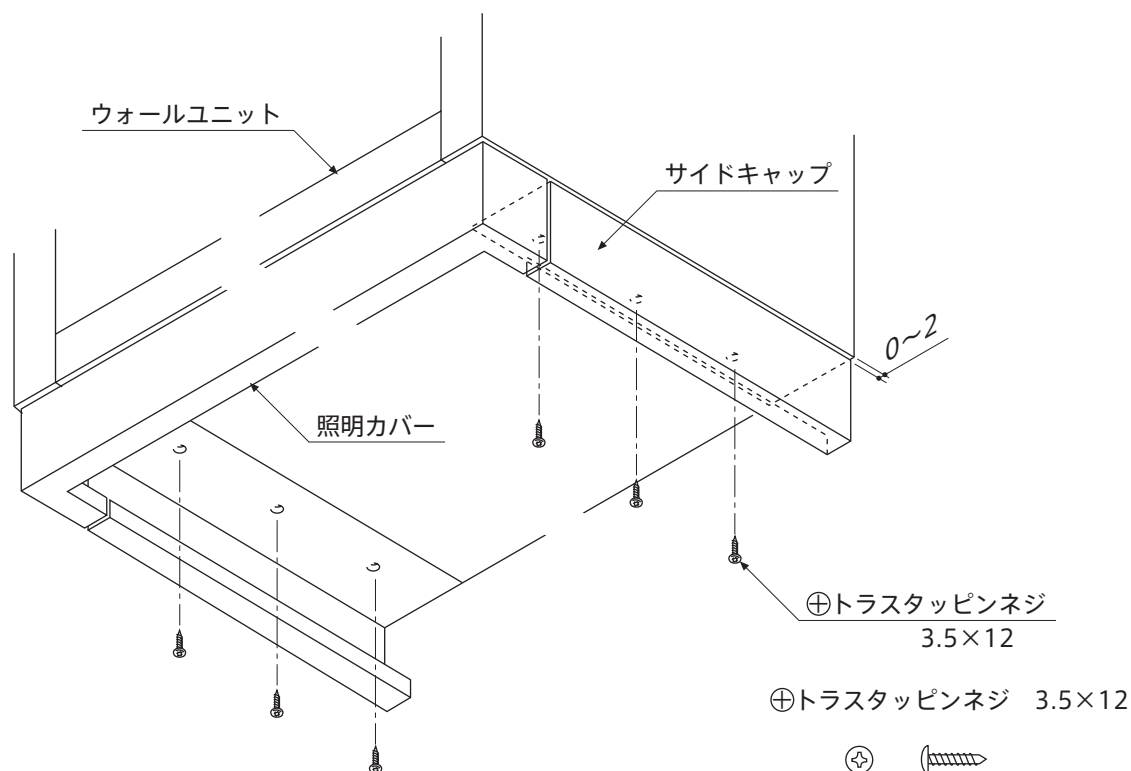


図7

ウォールユニット

ウイングチップ

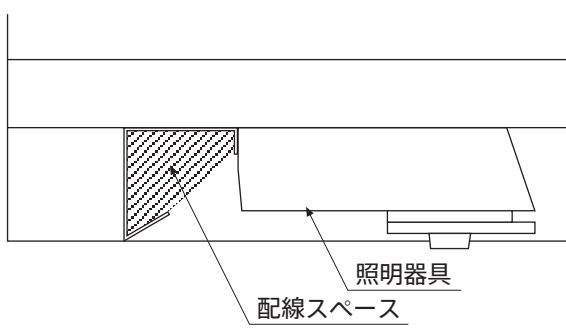
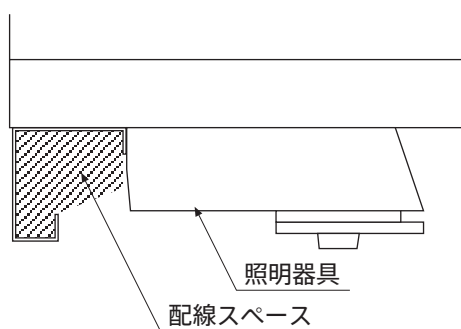
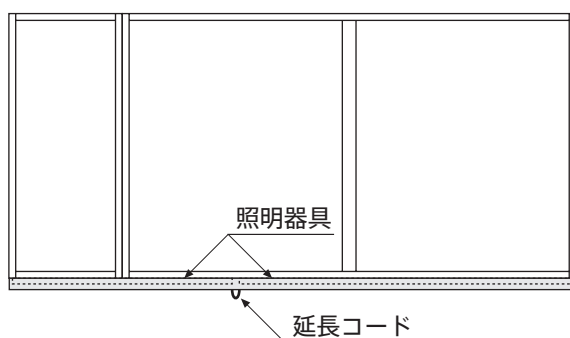


図8



3. サイドキャップを照明カバーの側面に合わせて付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12にて取付けてください。(図6)

注意：ウォールユニットの両端より0～2mm入った位置に取付けてください。

4. 照明器具を付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12にて、図7の位置に取付けてください。
なお、電源コード類は照明カバー内の配線スペースに収納してください。

注意：照明器具を2本以上連結する場合は、付属の延長コードを使用してください。(図8)

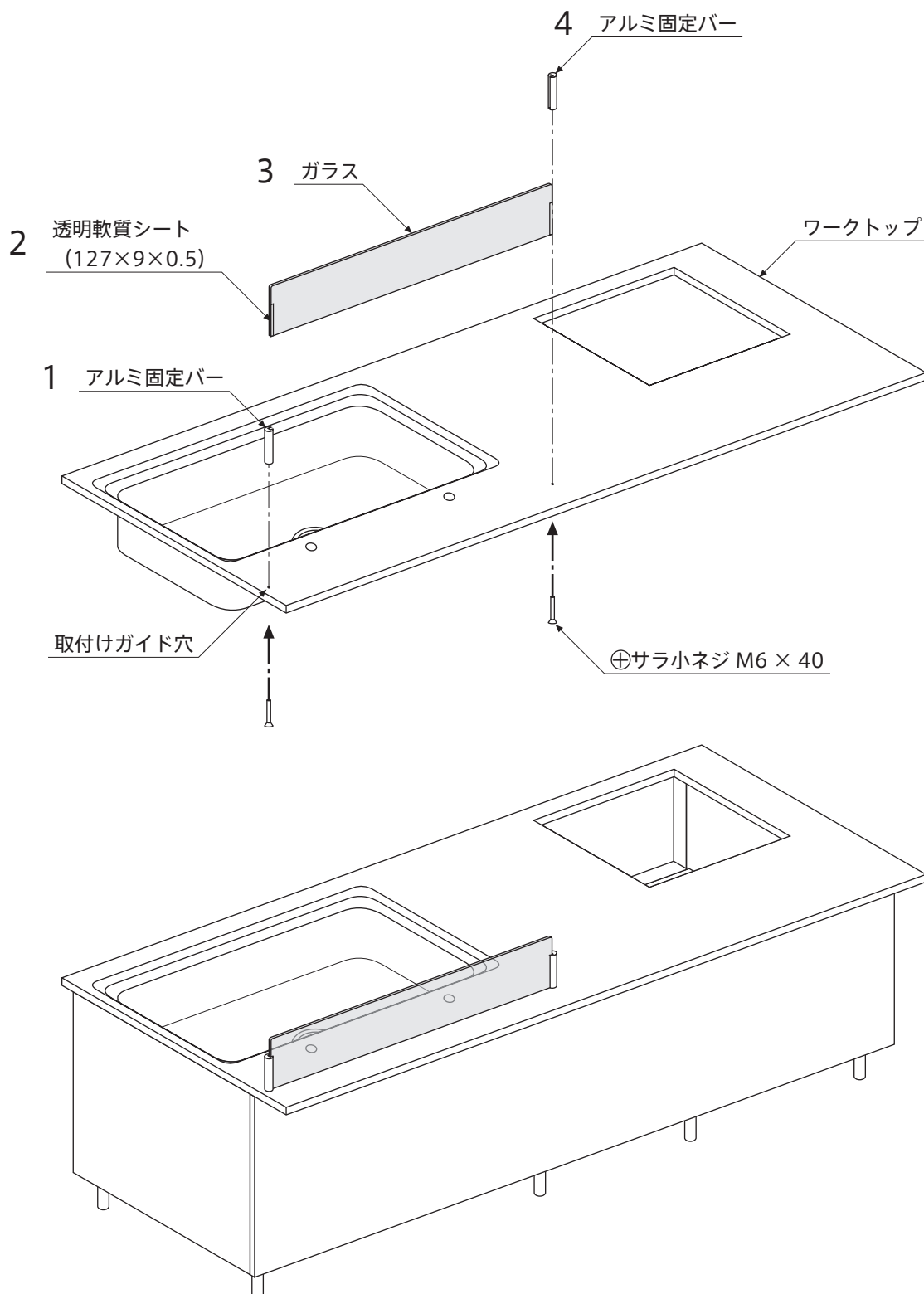
ガラスバックガードの取付け

※ ガラスバックガードの取付けは、ワークトップをユニットへ固定する前に行ってください。

1. 左右どちらか一方のアルミ固定バーを、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、⊕サラ小ネジM6×40にて固定します。
2. ガラスの両端両面の下側に透明軟質シートを接着無しで合わせて貼り付けます。
3. 1で取付けたアルミ固定バーの溝部分に、軟質シートを貼ったガラスを水平に差し込みます。
4. もう片方のアルミ固定バーをガラスに差し込み、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、⊕サラ小ネジM6×40にて固定します。

※ ガラスが差し込みできない場合は、軟質シートを片面にしてください。

5. ガラスバックガードを取付けたワークトップを取付けます。

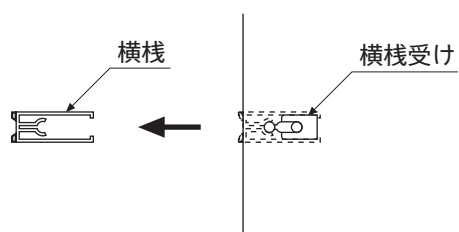


配管前の準備

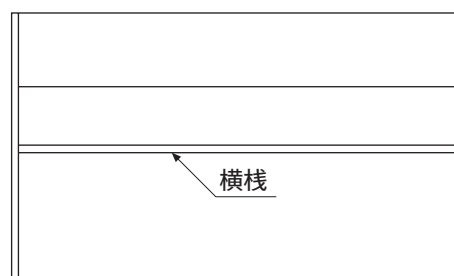
横棧の取り外し

- ・排水管の配管を行う前に、作業しやすくするために、横棧受けから横棧を取り外します。
- ・作業が終了したら、横棧を取付けます。

側面断面図

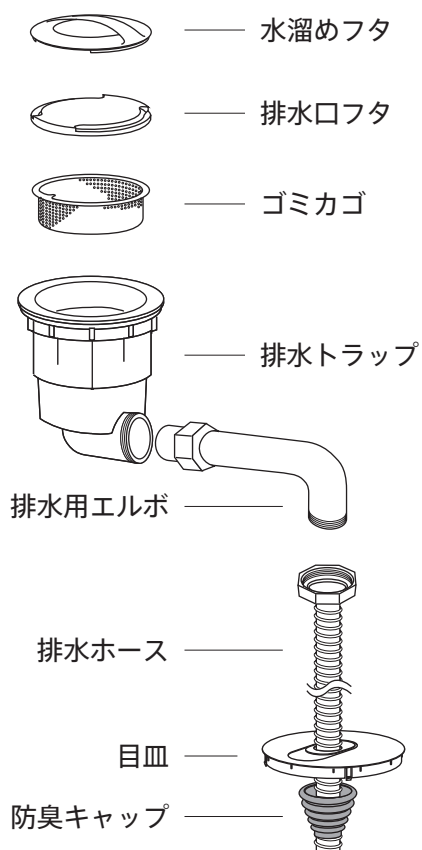


正面図

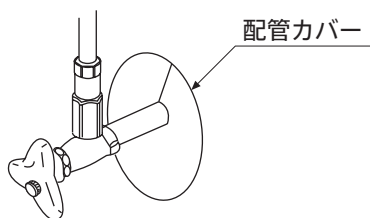


排水管の配管

- ・下図に従い、排水管の配管を行います。



配管カバーの取付け



シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けます。

水栓、キッチンパーツの取付け

- ・ワークトップの水栓取付穴に水栓を取付けます。

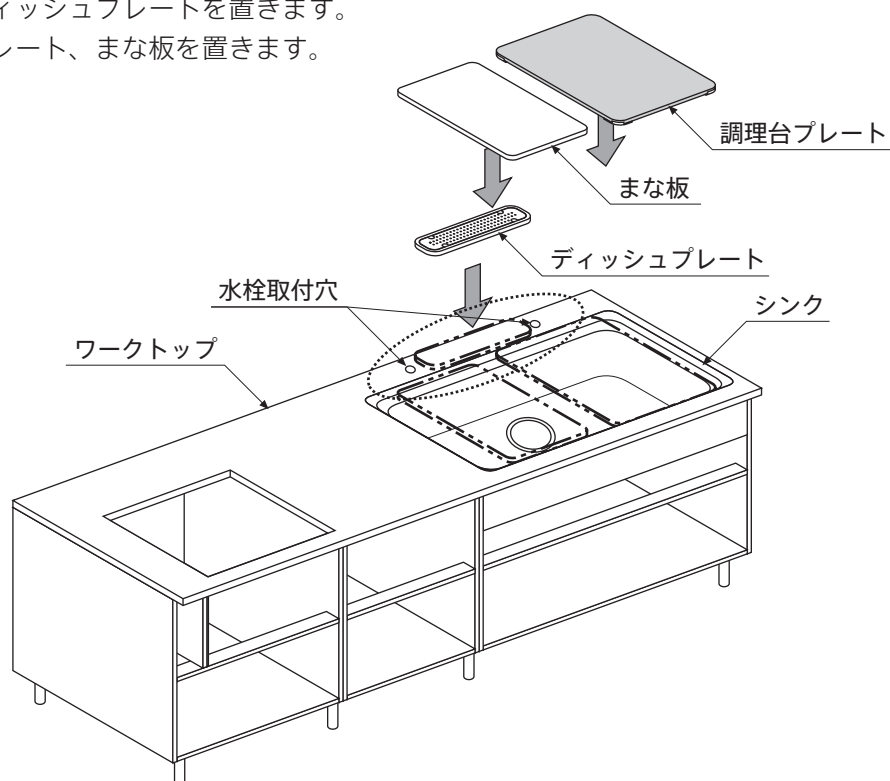
※水栓の取付けについては、付属の「取付・設置説明書」を参照にしてください。

- ・水栓取付穴をふさぐ場合は、ホールカバープレートを取付けます。

ワークトップの上側より水栓取付穴にホールカバープレート本体を差し込みます。

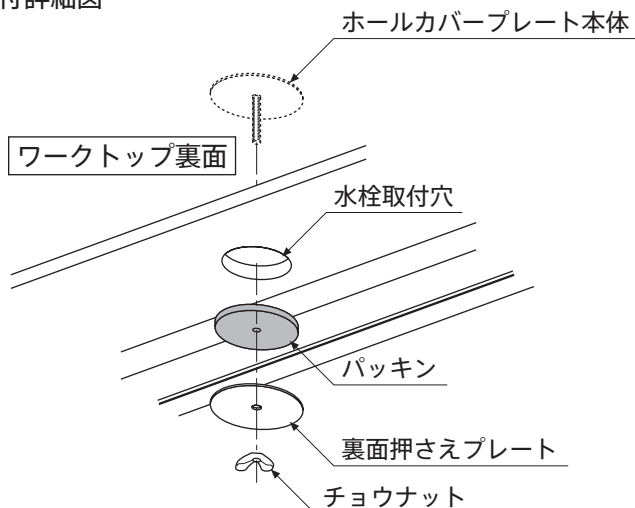
ワークトップの下側よりホールカバープレート本体のボルトにパッキン、裏面押さえプレートの順に差し込み、チョウナットを締めて固定します。

- ・ワークトップにディッシュプレートを置きます。
- ・シンクに調理台プレート、まな板を置きます。

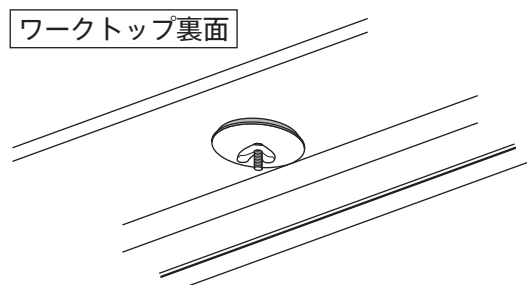


■ホールカバープレート取付方法（ワークトップ裏面より）

取付詳細図

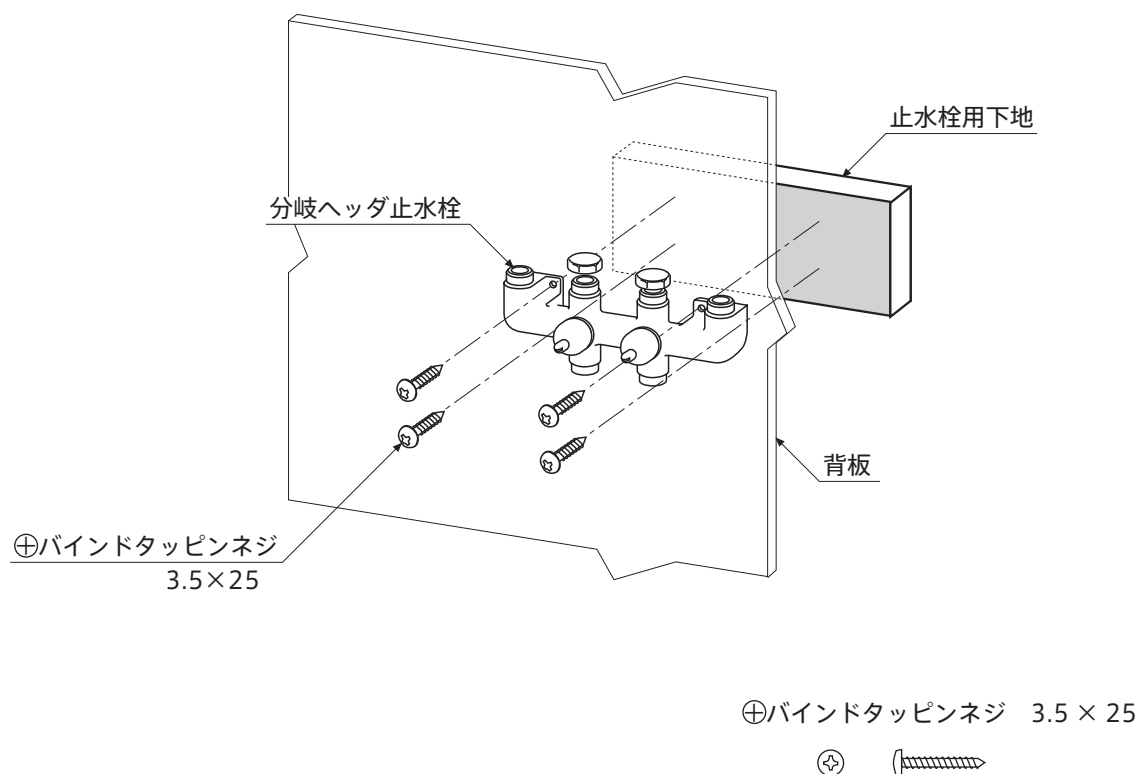


納まり図



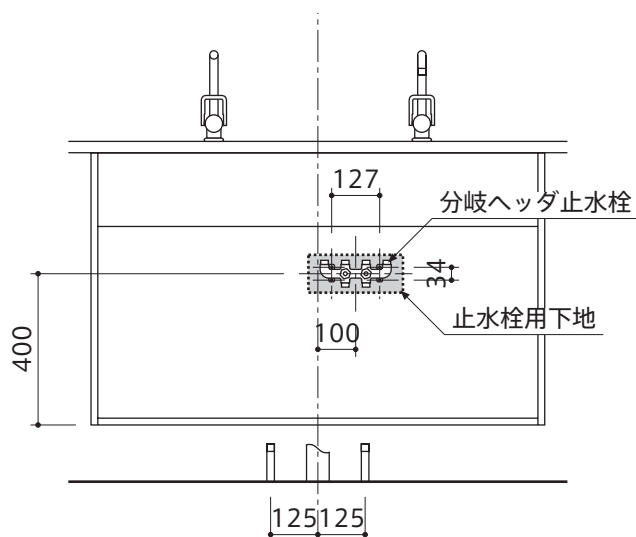
分岐ヘッダ止水栓の取付け

- ・分岐ヘッダ止水栓はシングルレバー混合水栓の下側に取付けます。
シングルレバー混合水栓2本の場合、ユニット中央に取付けます。
- ・シンクユニット背板背面に止水栓用下地をあて、背板をはさみ込むようにしてユニット内側から分岐ヘッダ止水栓を⊕バインドタッピンネジ 3.5×25にて指定位置に取付けます。



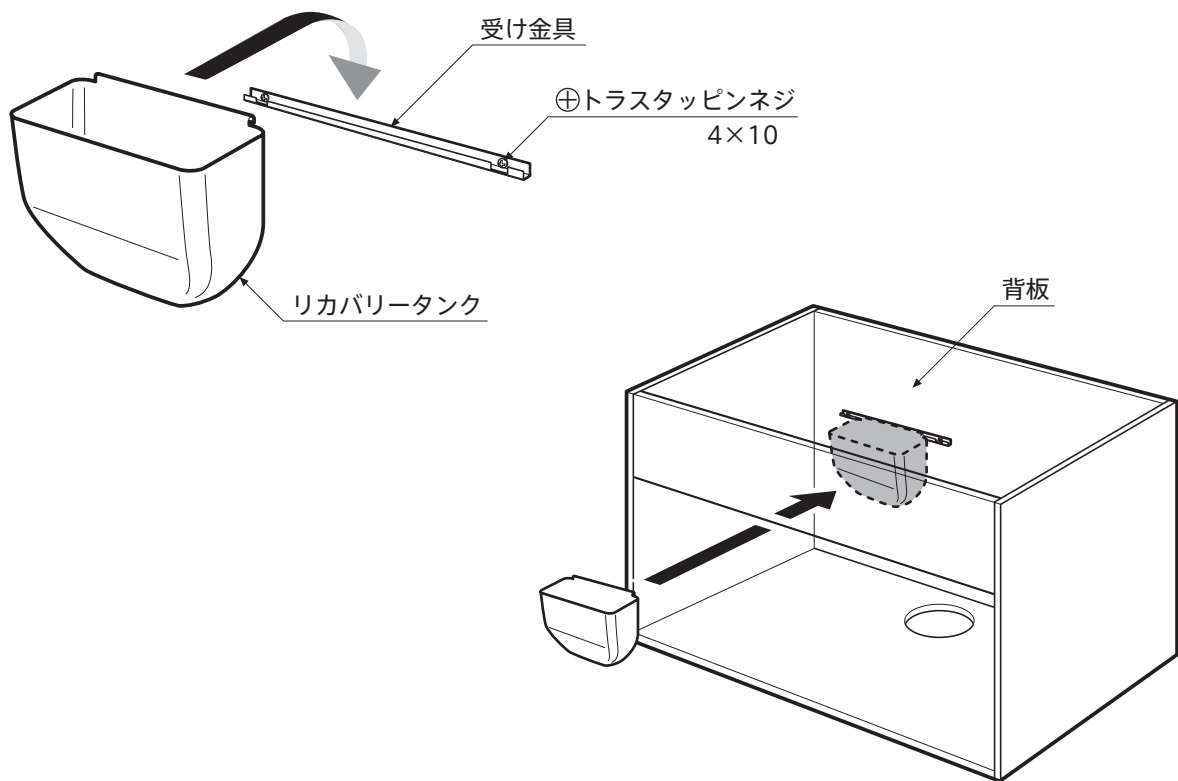
■分岐ヘッダ止水栓取付位置

- ・シャワー付
シングルレバー混合水栓
- ・シングルレバー混合水栓
- ・メタルホース付
シングルレバー混合水栓



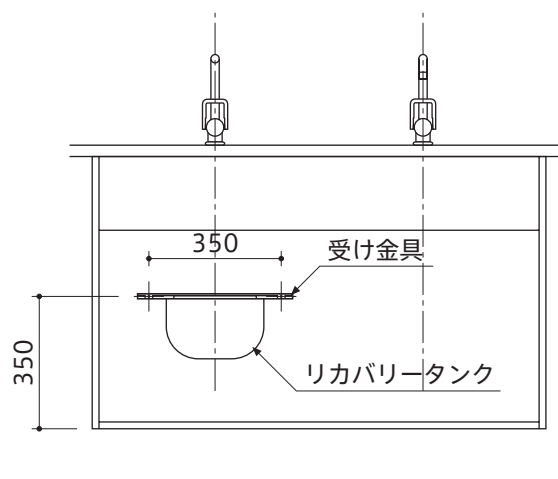
リカバリータンクの取付け

- ・リカバリータンクはシャワー付シングルレバー混合水栓、メタルホース付シングルレバー混合水栓の下側に取付けます。
- ・受け金具を⊕トラスタッピンネジ 4×10 にて背板の指定位置に取付け、リカバリータンクを引っ掛けます。



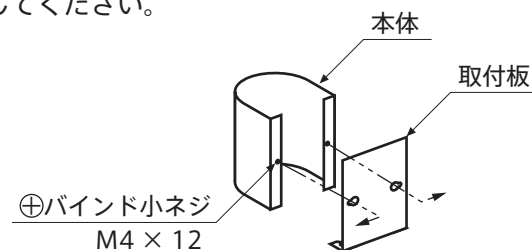
■リカバリータンク取付位置

- ・シャワー付
シングルレバー混合水栓
- ・メタルホース付
シングルレバー混合水栓
- ・シングルレバー混合水栓



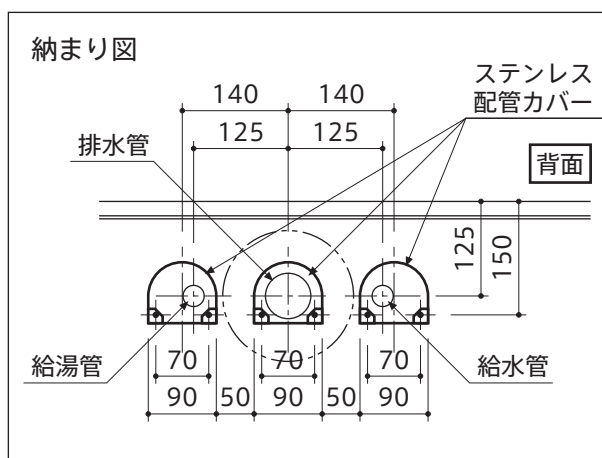
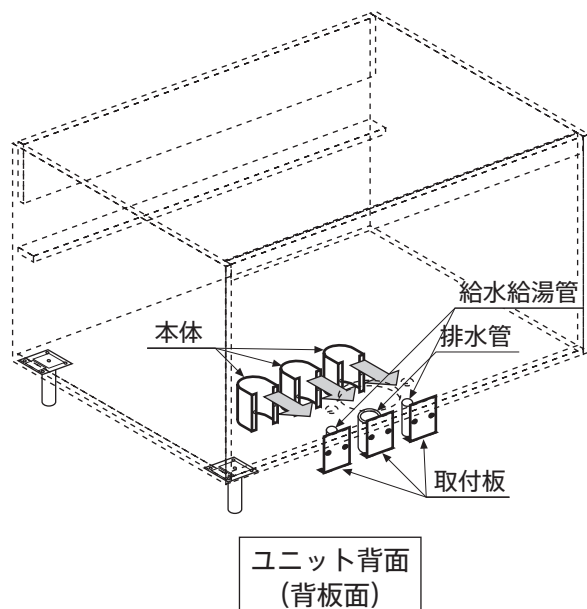
ステンレス配管カバーの取付け

1. 取付板を給水給湯管、排水管、ガス管位置に両面テープ（市販品）または、ネジ（市販品）にて床に固定します。
 2. 本体に⊕バインド小ネジM4×12を2ヶ所取付けます。
その際締め切らず、1.5mm程度開けた状態にします。
 3. 本体を給水給湯管、排水管、ガス管に覆い被せます。
 4. 本体を狭めながら、取付ネジ（⊕バインド小ネジ）を取付板の長穴に差し込んで固定します。
- ※ ガタつきが大きい場合は、取付ネジを締め付けて固定してください。

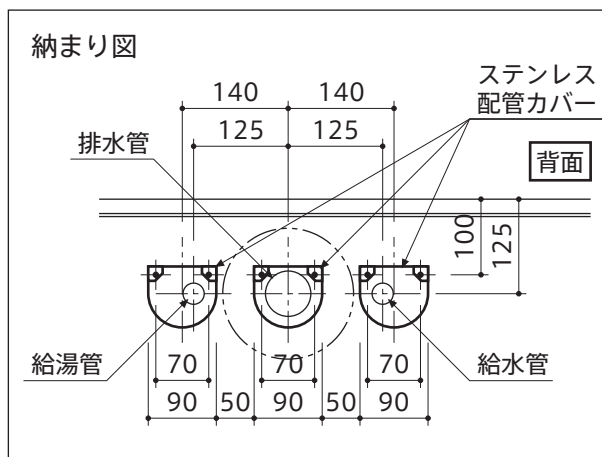
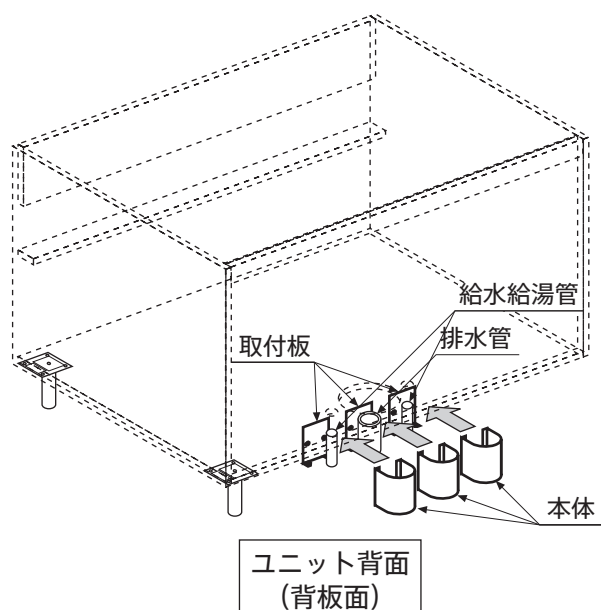


■ステンレス配管カバーを3個使用した場合の取付け例

【オンウォールタイプ】

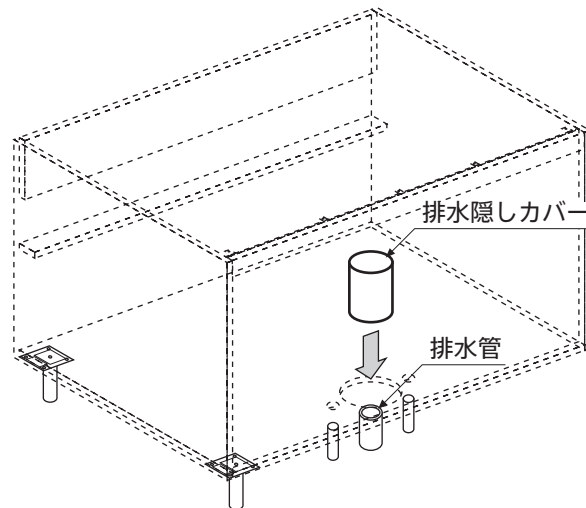


【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】



排水隠しカバーの取付け

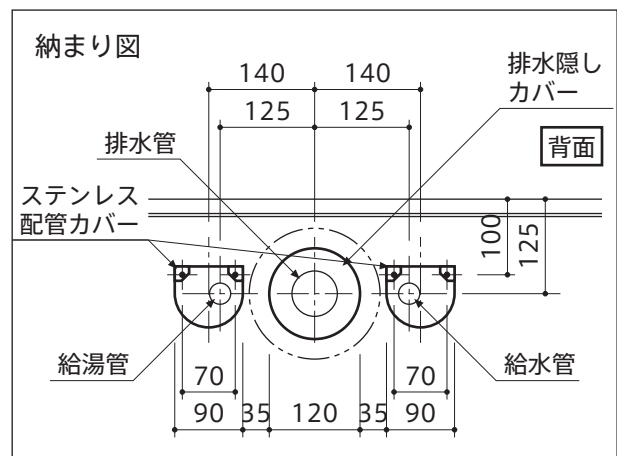
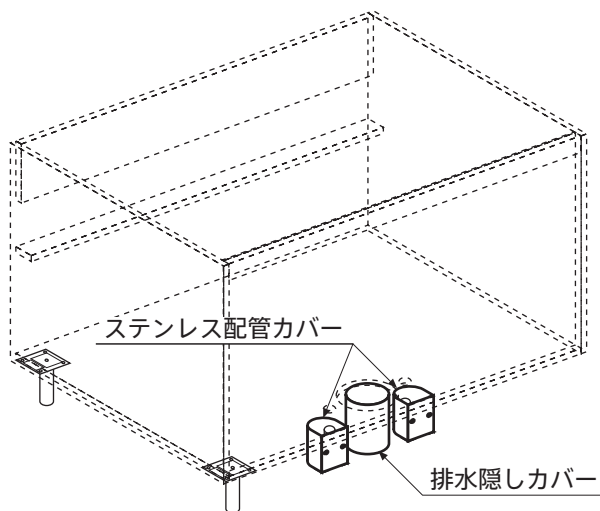
- ・排水管の配管を行う前に、ユニット内部の排水目皿用穴より排水隠しカバーを差し込みます。



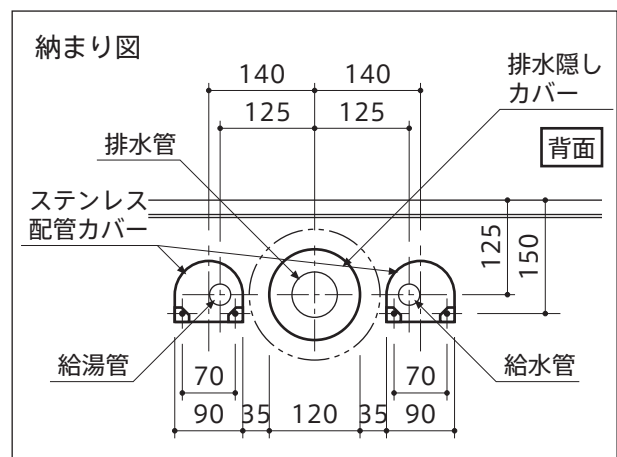
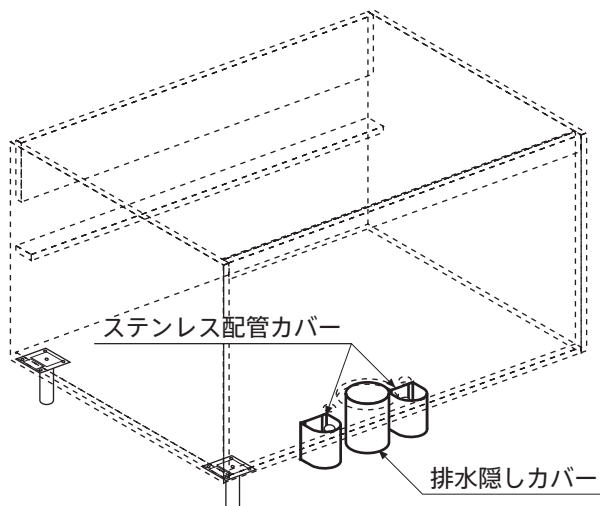
■ステンレス配管カバー 2 個と排水隠しカバーを使用した場合の取付け例

(※ MKOPS - HC150(100)B2 の場合、残りのステンレス配管カバー 1 個はガス管または配線などのカバーとして使用します。)

【オンウォールタイプ】

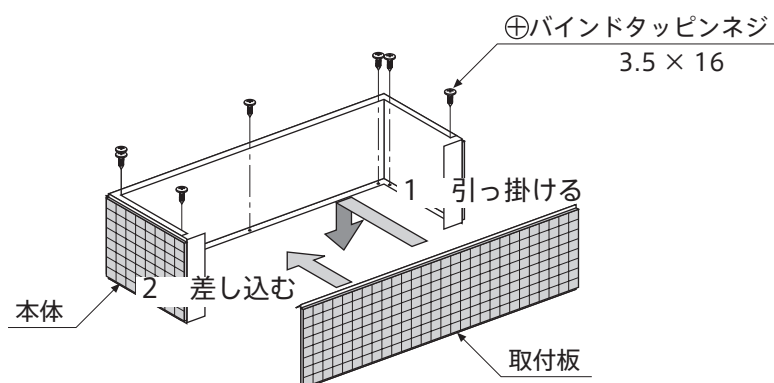


【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】

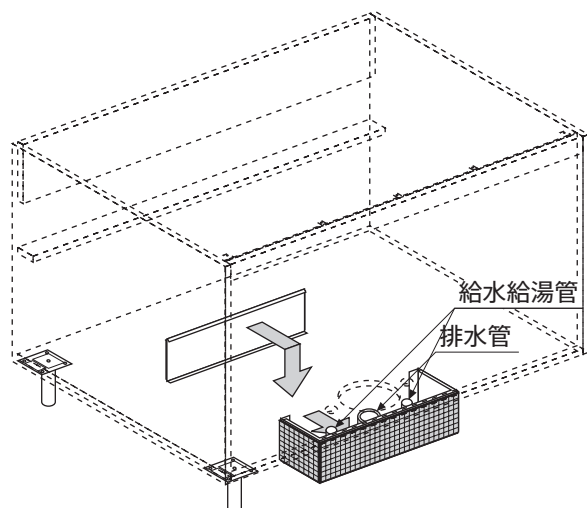


配管ボックスの取付け（モザイク、ステンレス共通）

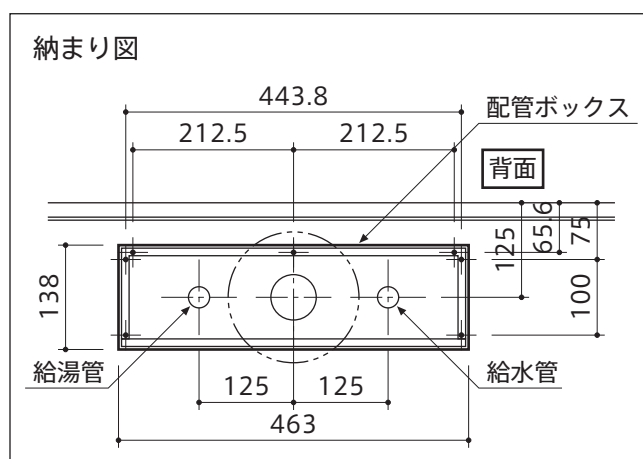
1. 本体を給水給湯管、排水管位置に両面テープ（市販品）または、⊕バインドタッピンネジ 3.5×16（7ヶ所）にて床に固定します。
2. 取付板上部を本体に引っ掛け、取付板下部を本体と床とのすき間に差し込みます。



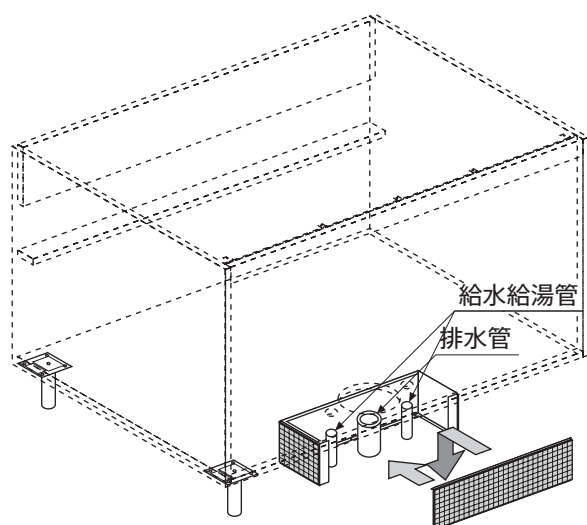
【オンウォールタイプ】



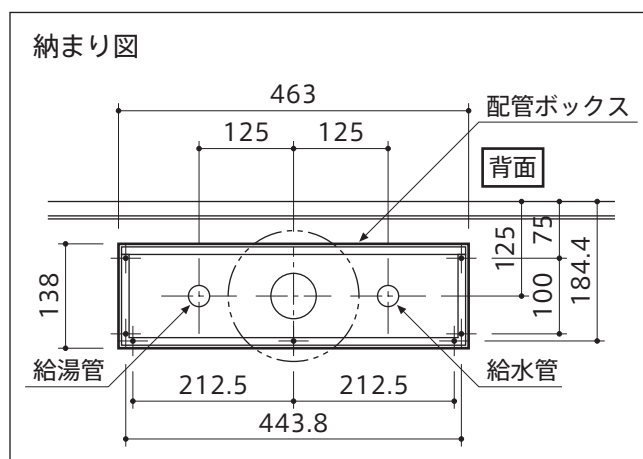
ユニット背面
(背板面)



【アイランドタイプ】



ユニット背面
(背板面)



■オンウォールタイプの場合

1. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットの底板裏面に配管隠しカバー取付金具Aを⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 1.6 (3ヶ所) にて指定位置に取付けます。(図1)
2. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に取付けます。
3. 配管隠しカバーを⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 1.2 (2ヶ所) にて配管隠しカバー取付金具Aに固定します。(図2)

■アイランドタイプの場合

1. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットの底板裏面に配管隠しカバー取付金具A、Bを⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 1.6 (各3ヶ所) にて指定位置に取付けます。(図1)
2. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に取付けます。
3. 配管隠しカバーを⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 1.2 (2ヶ所) にて配管隠しカバー取付金具A、Bそれぞれに固定します。(図2)

図1

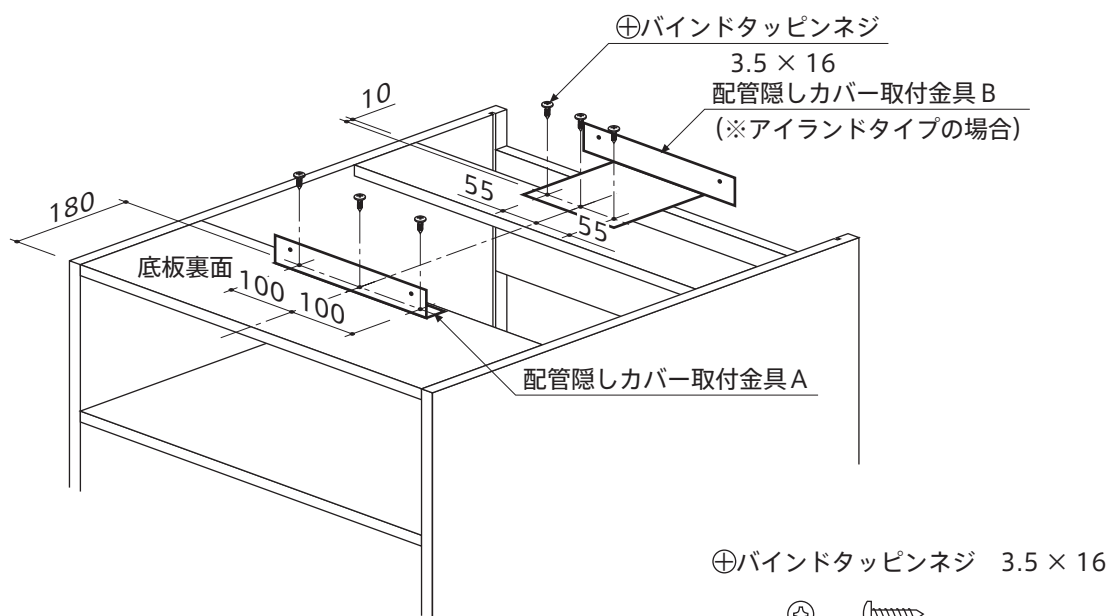
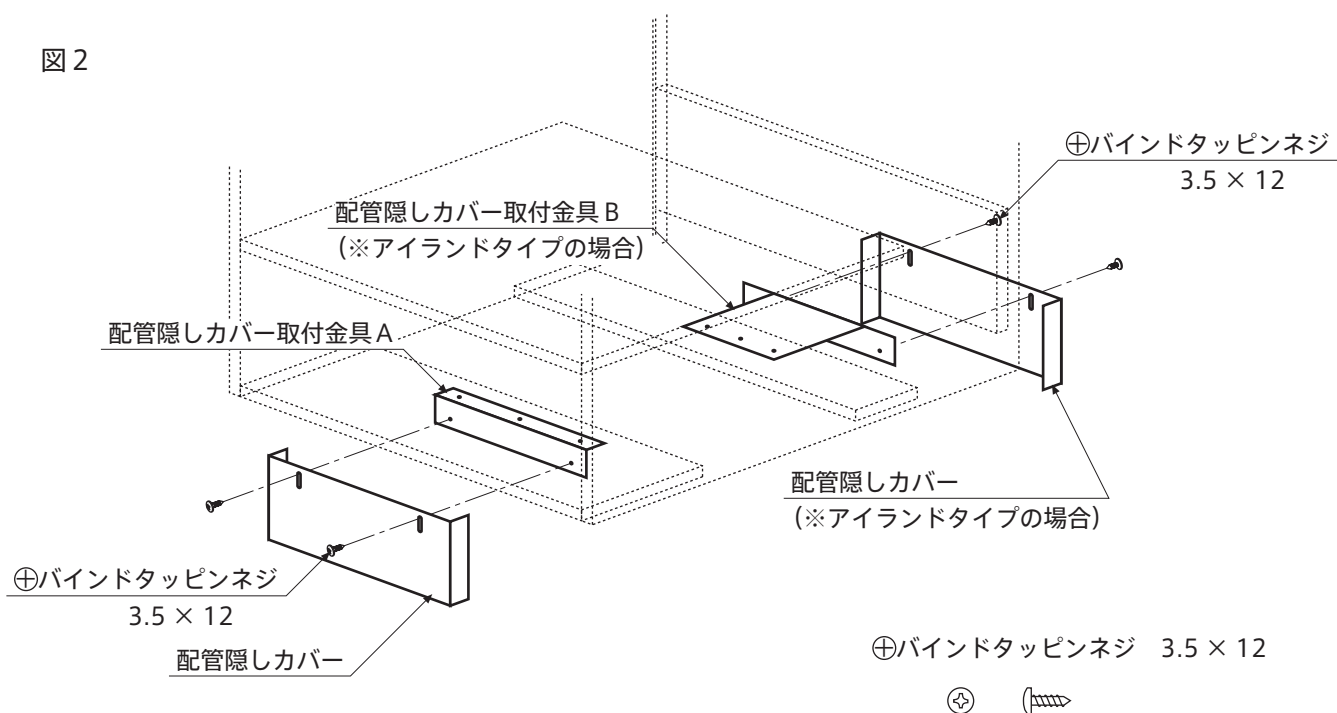


図2



ブルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバーの取付け 2

※ 床立ち上げ配管専用です。

1. 配管隠しカバー本体を床の指定位置に固定します。

■配管隠しカバー本体下面に両面テープが貼り付けてある場合

・配管隠しカバー本体下面の両面テープ（4ヶ所）のはく離紙をめくり、床に固定します。

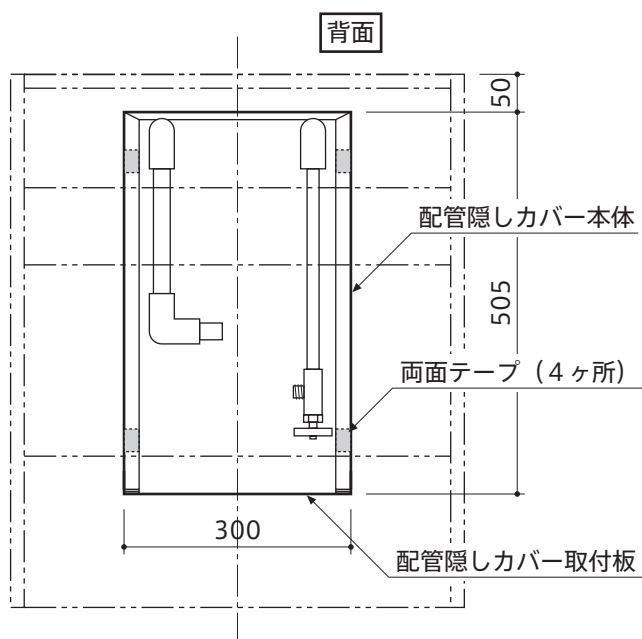
■配管隠しカバー本体に取付穴が開いている場合

・配管隠しカバー本体を⊕バインドタッピンネジ3. 5×16（4ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床に固定します。

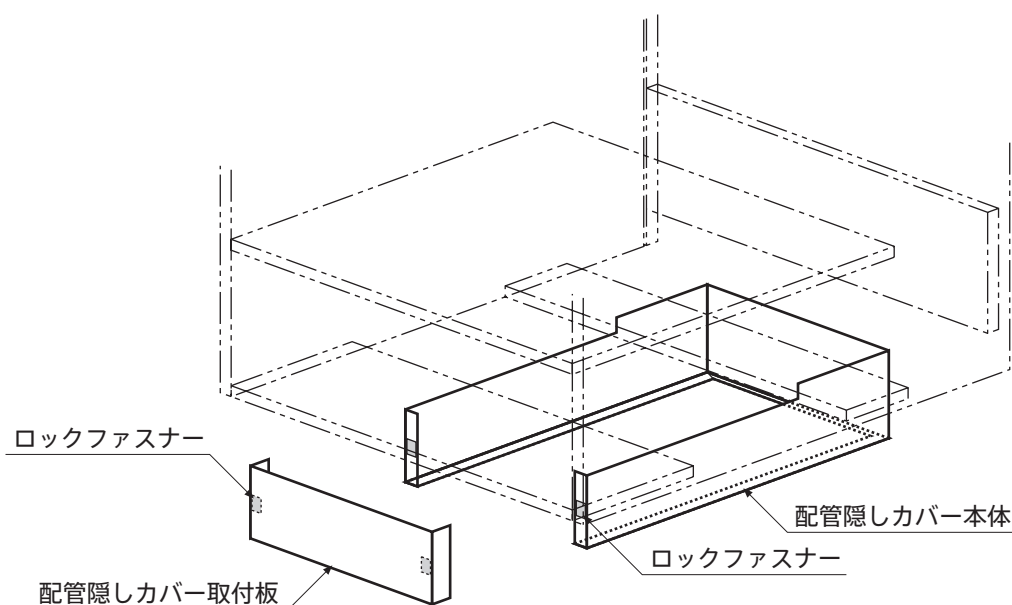
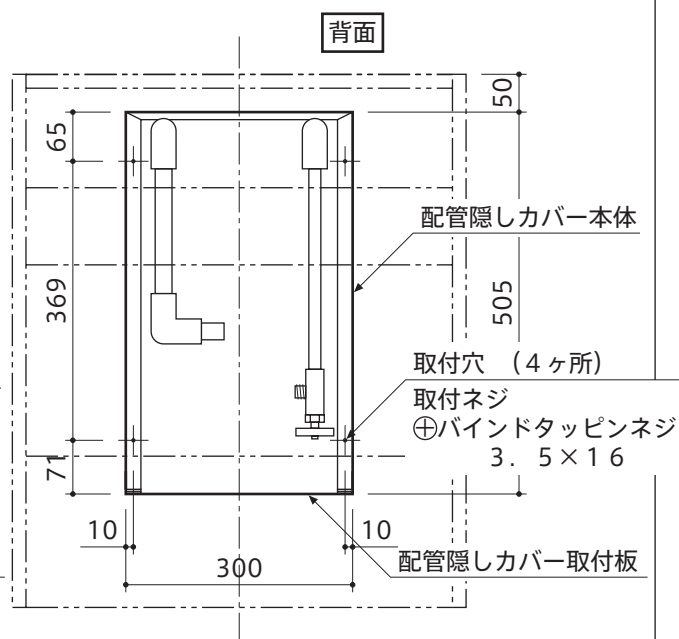
2. 配管隠しカバー取付板と配管隠しカバー本体のロックファスナー（2ヶ所）の位置を合わせ、前面から押さえて固定します。

納まり図

■両面テープが貼り付けてある場合



■取付穴が開いている場合



※イラストはSDOP-HC7H-*****の場合を示し、SDOP-HC6H-*****の場合は形状が異なります。

クロスギャラリーの取付け（ブルム社製フルエクステンション引出しの場合）

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。（図1）
 - ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。（図2、図3）
 - ・クロスギャラリーのネジを締めます。（図1）
- ※取り外す時は、逆の手順で行います。

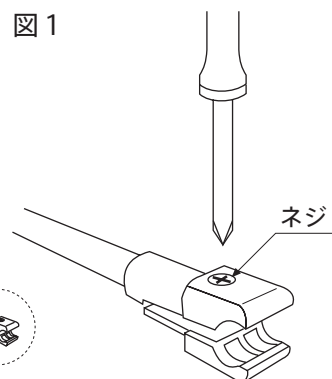


図2

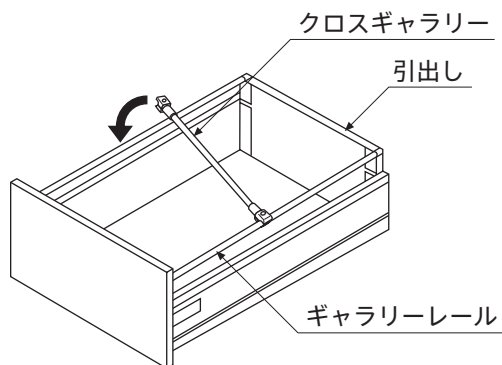
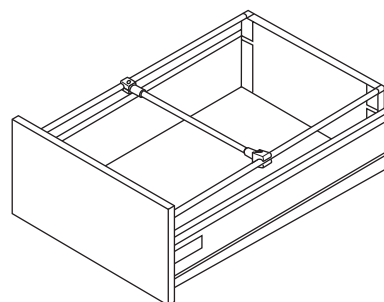
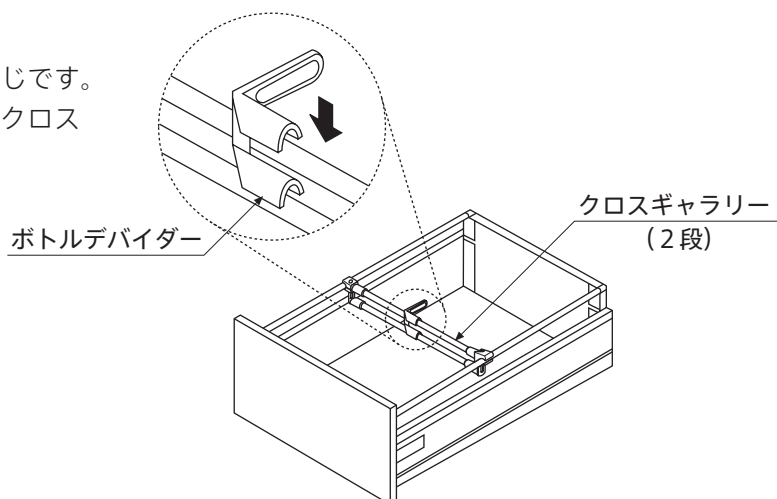


図3



■クロスギャラリー2段タイプ

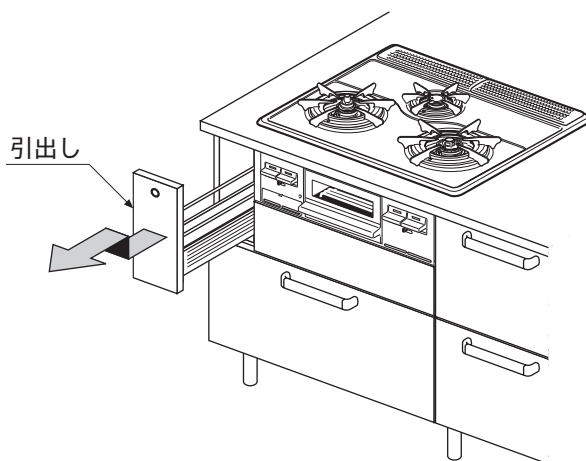
- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



引出しの取り外し、取付け

■スチール製引出しの場合（加熱機器ユニット上段）

- ・引出しの取り外しは、引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げながら引出しレールから引き抜きます。
- ・引出しの取付けは、取り外しの手順を逆に行います。

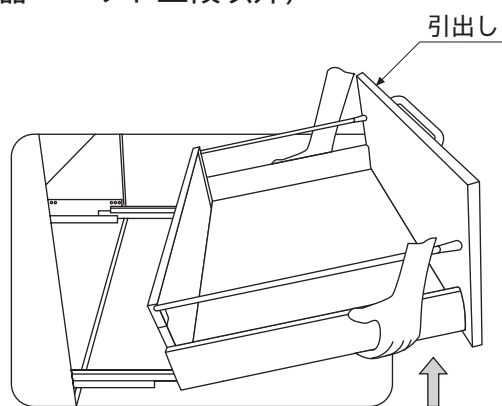


■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合（加熱機器ユニット上段以外）

取り外し方

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。

※必ず両手で引出しを持って取り外してください。



取付け方

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・引出しレールの上に引出しをのせてください。（図2）
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。（図3）

図1

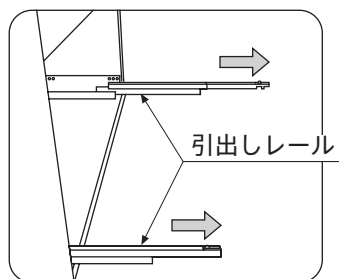


図2

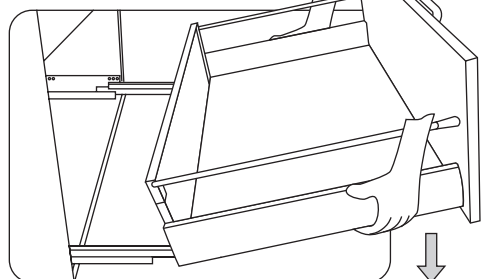
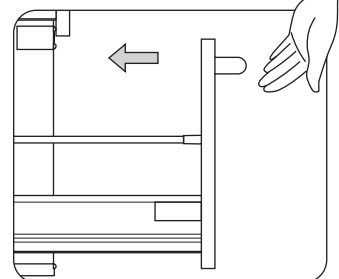
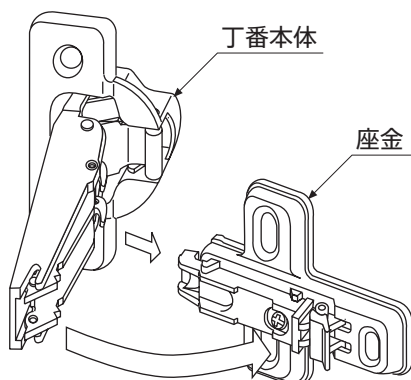


図3



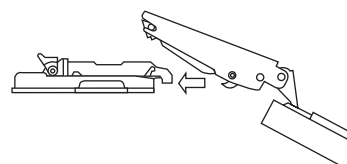
丁番の着脱

取付け方

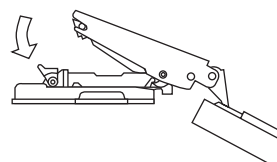


- ・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。

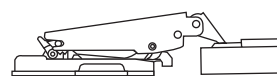
1



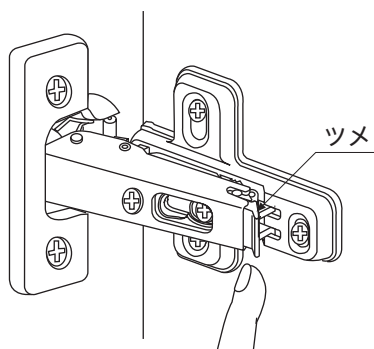
2



3

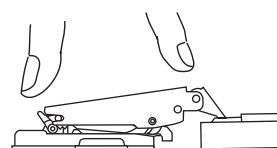


外し方

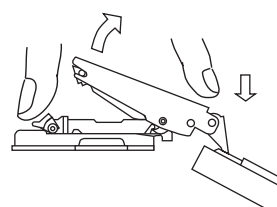


- ・座金の「ツメ」を押して丁番本体を外します。

1



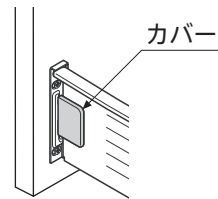
2



引出し前板の調整

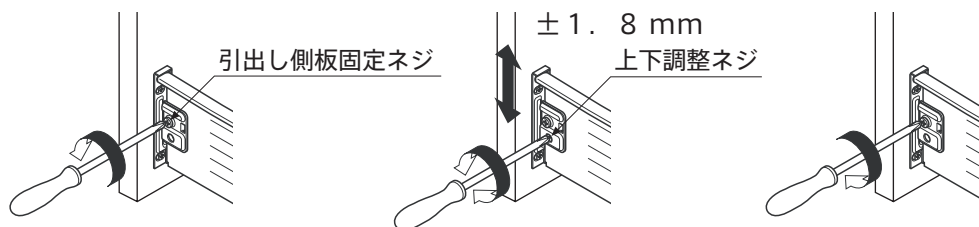
■スチール製引出しの場合（加熱機器ユニット上段）

- ・ 引出し側板の左右外側についているカバーを取り外します。
- ・ 全ての調整が終わりましたら、カバーを取付けます。



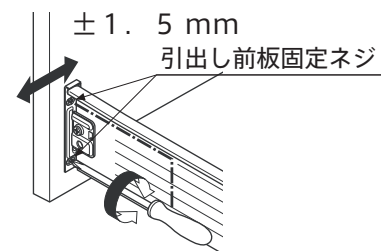
●上下方向の調整

- ・ 引出し側板固定ネジをゆるめ、上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ ± 1.8 mm調整できます。
- ・ 調整が終わりましたら、引出し側板固定ネジを締めます。



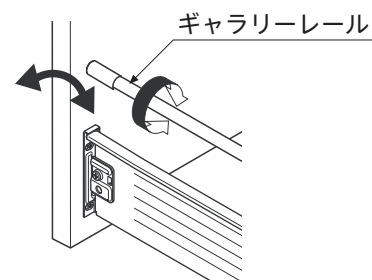
●左右方向の調整

- ・ 引出し前板固定ネジをゆるめ、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ ± 1.5 mm調整できます。
- ・ 調整が終わりましたら、引出し前板固定ネジを締めます。



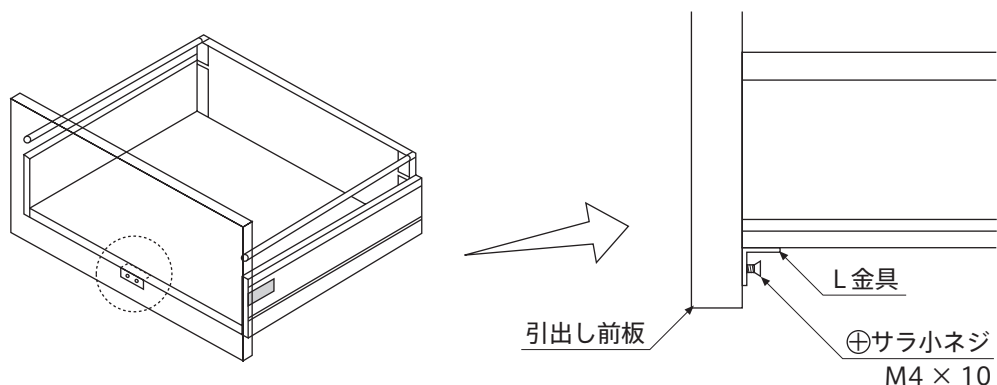
●傾き調整

- ・ ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。

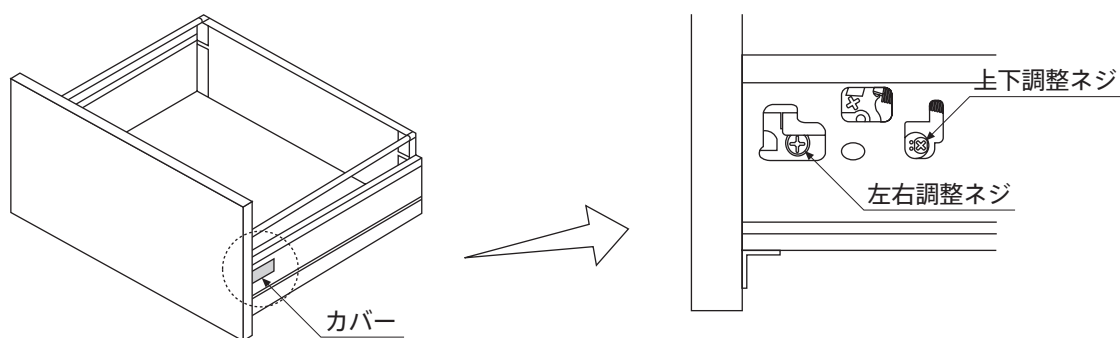


■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合（加熱機器ユニット上段以外）

- ・ 間口750mm以上のユニットの場合、引出し前板の調整を行う前に、底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ(⊕サラ小ネジM4×10)をゆるめておきます。
- ・ 全ての調整が終わりましたら、取付ネジを締めます。

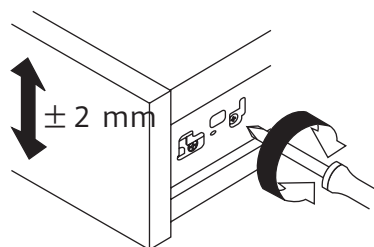


- ・ 引出し側板の左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で取り外します。
- ・ 全ての調整が終わりましたら、カバーを取付けます。



●上下方向の調整

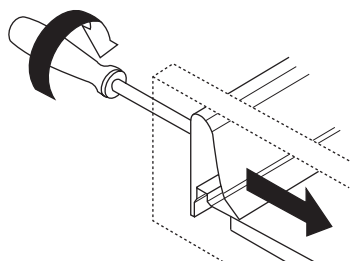
- ・ 上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 2\text{ mm}$ 調整できます。



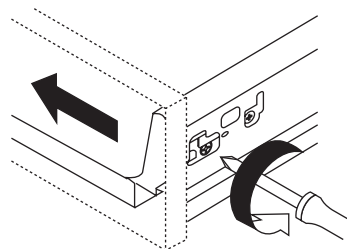
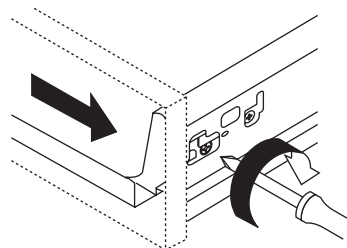
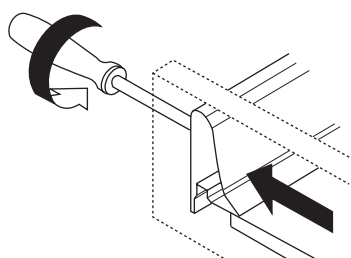
●左右方向の調整

- ・ 左右調整ネジにて引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ $\pm 1\text{ mm}$ 調整できます。

右へ1mm



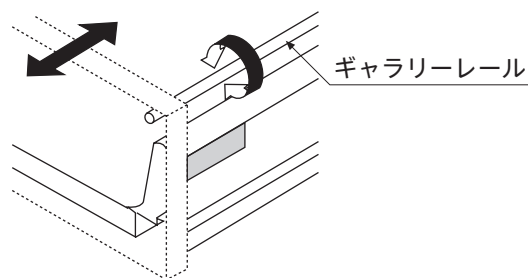
左へ1mm



●傾き調整

※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。

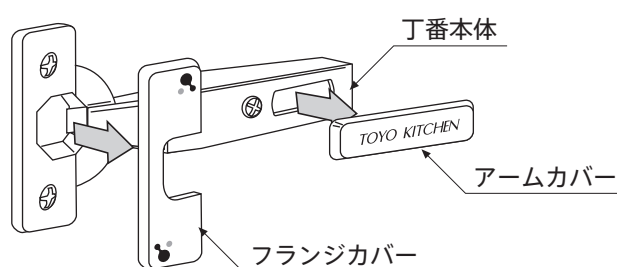
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



扉（丁番）の調整

※調整は、トルク 9 k g f 以下で+ドライバーを使用して行ってください。

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



※調整を行う場合、1. 上下方向 2. 左右方向 3. 前後方向の順番で行ってください。

1. 上下方向

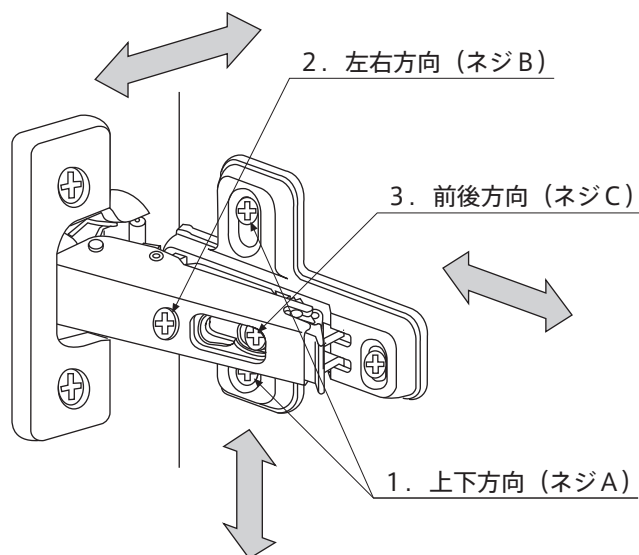
- ・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定め、固定します。

2. 左右方向

- ・ネジBで調整します。

3. 前後方向

※前後方向は基本的には動かしません。



取付・設置後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・シンク・ガス機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で見えるように養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

商品名	システムキッチン【PORTO】【PORTO piano】
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上り部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B） F☆☆☆☆ M D F F☆☆☆☆ 合 板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆

VOC放散性能	4 VOC 基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉

メール tk@toyo1.toyokitchen.co.jp

F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

